

# 憲法

## 第一回

法學士 合川 正道 講述  
 校 友 内藤 義一 筆記

憲法ノ何物タルヲ知ラシムニハ先ツ其語ノ起原及ヒ其意義ヲ知ル事ヲ要ス抑憲法トハ英語ノ「コンスタテューション」ニシテ其本來ノ意義ハ物ノ組織ヲ意味スルニ在リテ廣ク之ヲ云フキハ凡テ宇宙間ノ事物ハ有機物無機物タルヲ問ハス其物体ノ組織ヲ「コンズテューション」ト云フ組織トハ之ヲ人身ニツキテ云フキハ耳目鼻口等ノ如キ人ノ身体ヲ組成スルモノヲ云フ借物アレハ必ス其物ヲ支配スルノ法則アリ茲ニ云フ法則或ハ法律ハ政府カ規定スル法律ノ如キ陝隘

ナルモノトハ異ナリ其意義大ニ廣クシテ物アレハ必ス其組織アリ組織アレハ必ス其物ヲ支配スルノ法則アルヲ云フ人身ニツキテ之ヲ云フキハ耳目鼻口頭上ニアレハ之レ法則ニアラス能ク顔中ニ配置セルハ之レ法則ナリ「コン」スナチ「ユー」シヨソノ本來ノ意味ハ此ノ如ク廣汎ナレモ今日コトハ單ニ之ヲ政治ノ組織ニノミ用ユル事トナレリ

斯ク説キ來レハ憲法ナルモノハ人間社會種々ノ關係ノ中政治的ノ關係ヲ支配スル法則ヲ指スモノタル事自ツカテ明カナリ茲ニ至リテ忽チ憲法ナル語ニツレテ重要ナル語ヲ生ス則チ憲法ナル思想ヲ腦裏ニ形ヲ造ルニ缺クヘカラサル要用ナル思想アリ語ヲ變ヘテ之ヲ云ヘハ憲法ヲ形ヲ造ルノ原素アル事之レナリ其一ハ國家ナルモノニシテ之ニ連リテ政府ナルモノヲ生ス此政府ノ有スル權力ハ之ヲ主權ト云フ此國家政府主權ノ三者ハ所謂憲法ナル思想ヲ形ヲ造ルニ要用ナル原素ナリ

國家及ヒ政府ナル語ノ説明ハ政治學ノ講義ニ譲リ今日之ヲ省畧セン何トナレハ此等ハ政治學ヲ講スルキニ當リ説明スルニ最モ適當ナル問題ニシテ加フル

ニ國家及ヒ政府テフ語ノ意義ヲ盡知スルハ容易ナラサルモ其一ト通りノ意義ハ諸君ノ會得セラル、所ナレハナリ然レモ主權テフ語ニ至テハ特ニ之カ説明ヲナサ、ルヲ得ス何トナレハ該語ニハ種々ノ意義アリテ有名ナル學者中甲ノ執レル解釋ト乙ノ採ル解釋トハ互ニ相異ナリ管ニ異ナル点アルノミナラス或ハ大ニ反對セルモノアリ而シテ其種々様々ノ學者カ種々様々ニ此語ヲ使用スルモ其レカ最モ善シト一概ニ論シ去ル能ハサルモノアリ故ニ區々ノ説ニツキ最モ著名重要ナルモノヲ擧ケ以テ憲法上ニ使用スルニ當リ取ルヘキ適當ノ意義ヲ開示スヘシ

主權ナル語ノ種々ノ異説ヲ大別スレハ左ノ三種トナル

甲 ホツブス及ヒチリスチン氏派ノ取ル意義

乙 リーバル氏派ノ意義

丙 ギアー氏派ノ意義

主權ニツキテノ種々ノ説ハ概ネ此三種ノ一ニ入ルモノナリ此外獨逸ノ學者ブルンナユリノ主權ノ説アレモ大概此三種ノ説ヲ折衷シタルカ如キモノニシ

テ特ニ之ヲ一種トスルニ足ラサレハ茲ニ之ヲ省ク乞フ先ツ丙ヨリ順次遡リテ之ヲ説明セン

丙 <sup>ノギア</sup>ギアノ説ニヨレハ主權ハ正理ナリ凡ソ人間社會ニハ正理ノ存在セサル所ナシ正理ハ是非善惡ノ標準トナルモノナリ人間ハ是非善惡ヲ識別スルノ智力ヲ有ス人間ノ他ノ動物ト異ナル所以ハ實ニ此点ニアリ人既ニ是非善惡ヲ識別スルノ智力ヲ有スレハ總テ正理ノ支配ヲ受ケサル可ラス此故ニ人間世界ヲ支配スルハ正理ヨリ大ナルナシ正理ヨリ盛ナルハナシ人間社會ノ事ハ總テ正理ヲ以テ之レカ模範トシ之レカ標準トセサル可ラス故ニ正理ノ人ヲ支配スルノ力之ヲ主權ト云フ

右ギアノ説ハ今日之ヲ以テ憲法ナル語ノ原素トスル能ハス然レモギアノカ正理ニ主權ナル尊稱ヲ與フルハ必シモ之ヲ誤認ナリト云フヲ得ス蓋シ正理ハ人間ノ最モ尊フヘキモノタルコトハ復言ヲ待タサル所ナリ故ニギアノ正理ヲ用ヒシハ政治上ノ權力ヲ指サス正理ノ尊フヘキヲ表スル語トシテ使用スレハ毫モ支障ナキナリ唯此意味ヲ以テ其語ヲ憲法上ニ使用スヘカラサルナリ

乙 リーハルハギアノ説トハ大ニ異ナリ之ヲ畧言スレハ社會ニ存在スル勢力ヲ以テ主權ト云ヒ社會其レ自身ヲ主權者ト云フ社會トハ諸君ノ知ラル、如ク人間ノ集合シテ組織セルモノニシテ人間ノ集合セル社會ニハ社會固有ノ勢力アリ此社會力ノ社會ニ於ケルハ猶ホ蒼色ノ森林ニ於ケルカ如シ僅カニ一二ノ樹木ニハ其色ヲ見ル能ハスト雖モ數百ノ樹木集マリテ森林ヲ爲スモハ自ツカラ鬱叢タル綠色ヲ呈スルニ異ナラス社會力ハ社會ヲナセル一二ノ人ニツキテス之ヲ見ル能ハサルモ其集マリテ社會ヲ爲スモハ自ツカラ社會力ナル一種ノ勢力ヲ生ス社會力ハ何事ニテモ其社會ノ欲スル所ヲ爲シ遂ケサルモノナシ畢竟政權モ其依テ來ル所ハ社會力ニアリ

右リーハルノ社會力ノ説モ批難スヘキモノニ非サレモ之ヲ以テ直チニ憲法ノ元素トスル能ハサルナリ何トナレハ社會力ハ政治權トハ異ナルモノニシテ一社會ニ於ケル一部分ノ人ニ貸シ得ヘキモノニ非ス語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ社會力ハ人間ノ力ヲ以テ制限スル能ハサルモノナリ然ルニ憲法ノ目的ハ主權ノ分配及ヒ其使用ノ方法ヲ制限スルニアルヲ以テ若シリーハルノ説ニヨリ社會力

チ憲法ノ原素トスルキハ其憲法ハ主權ヲ制限束縛スル能ハス遂ニ憲法ノ目的  
ヲ達スル能ハサレハナリ

甲 ホツブスノ見解ニヨレハ國ニ君主アリ君主ノ有スル業ハ主權ニシテ君主  
夫レ自身ハ則チ主權者ナリトチラスチンノ説モ大体ニ於テハホツブスト同一  
ナレトホツブスハ君主ノ只一人ナル場合則チ主君獨裁ノキニ於テノミ主權者  
ト云ヒシモノナリ然レトチラスチンハ政權ヲ執ルモノ單ニ一人ナラス二人以  
上數百人ヨリ成立ツト其全体チ主權者ト云ヒ其司ル權チ主權ト云フ此チラス  
チンノ見解ニ至リ稍ヤ憲法ナル思想ノ原素トナスチ得然レトチ以テ直チニ  
其原素トナス能ハス猶少シク註釋チ加ヘサルヘカラサルモノアリ其故ハ抑モ  
チラスチンノ所謂主權者トハ次ニ述フルカ如キモノナリ一政治社會ニ於テ一  
人又ハ二人以上ノ人カ常ニ其社會ノ大數人民ノ爲メニ服從セラル、キハ其者  
チ主權者ト云ヒ其權チ主權ト云フ此解釋ニ於テ指示スヘキ要点ハ一人若クハ  
二人以上ナル有形物ナカル可ラサル事之レナリ之レ則チ主權者トナルモノニ  
シテリールバル及ヒギアノ如ク社會力或ハ正理ナル無形物カ主權者トナルニ

非サルナリ次ニハ常ナル語ナリ常トハ一時其社會ノ人チ服從セシノミニテハ  
主權者ト云フ能ハサルチ云フ然レト一社會ノ人チシテ常ニ盡ク服從セシムル  
事ハ爲シ得ヘキコ非レハ其大數部分カ服從スルキハ或ル一小部分ノ歸服セサ  
ルモノアルモ主權者タルチ害セサルナリ斯ク社會大數人民カ常ニ其命令ニ從  
フキハ之チ支配スル者チ主權者ト云ヒ支配スル權チ主權ト云フ予カ前キニ少  
シク註釋チ加フヘキモノアリト云ヒシハ此説ニヨレハ主權者ノ主權ハ無上無  
限ニシテ人力チ以テ之チ制限スル能ハサル主意トナルカ故ナリ則チチラスチ  
ン流ノ論法カ往々專制政治ノ説チ助クルハ此ニ在リト云フヘシ蓋シ氏ハ純粹  
ナル法理ノ一点ヨリ論シ政治等ノ事チ顧ミサルカ故ニ政治社會ニハ稍ヤ不適  
當ナルチ免レヌ故ニ少シク此意味チ制限セサルヘカラス之チ制限スルトハ主  
權ハ決シテ無上無限則チ上帝ノ有ズル全能力ノ如キモノトハ異ナリ必ス人間  
ノ制限チ受クヘキモノタルノ之レナリ此事ハエモスノ政治學ニ於テ之チ説ケ  
リ其語ニ曰ク何レノ國ニテモ衆人ノ行爲チ支配スル壯大ノ權力チ專有スル者  
ナクンハアラス之チ主權者ト云フ然レト此主權者カ何カニ盛大ナル權力チ使

用スル場合ニテモ全ク無制限ナルヲ決シテ之レナシ必スヤ多少輿論公議ノ制限ヲ受ク故ニ此輿論公議ノ制限内ニ於テ最モ盛ナル權力ヲ有スル者ヲ主權者ト云ヒ其權ヲ主權ト云フトエモス氏ハ最上政權ナル語ヲ主權ト同様ノ意義ニ使用ス即チ最上政權ハエモスノ言ノ如クナルカ故ニ無上無限ノ權力ニハアラス此意義ニテ主權テフ語ヲ解スヘキモノナリ

## 第二回

前回述ヘタル所ヲ畧言スレハ憲法ナル思想ヲ形造ルニ重ナル原素ハ國家政府主權ノ三語ニシテ國家及ヒ政府ナル語ノ説明ハ之ヲ政治學ニ譲リ主權ナル語ニツキテハ學者間種々ノ說アレハ憲法ノ原素ヲナス主權ノ意味ハ則チ最上政權ナル語ト同一ノ意味ナリト云フニアリ憲法ノ重要ナル原素ハ既ニ述フルカ如シ之ヨリ進ンテ其定義ヲ陳ヘン

政治上ニ憲法ナル語ヲ使用スルニ二様ノ意義アリ廣義及ヒ狹義之レナリ此區別ハ之ヲ口陳スレハ其レ迄ノ如クナレハ今日政治上憲法上ニ論セラル、モノ

ハ常ニ此二者ヲ混交シテ用ヒラル、カ故ニ詳細明確ニ之レカ區別ヲ知ラサル可ラス先ツ此二者ノ關係ヲ概言スレハ狹キ意義ノ憲法ハ廣キ意義ノ憲法ニ若干ノ分子ヲ加ヘタルモノナリ語ヲ換ヘテ云フキハ廣キモノハ憲法ナル語ノ本來ノ意義ニシテ狹キモノハ當今ノ意義ナリ歐洲ニ於テ政治理論ハ數千年ノ昔ヨリ存在セルモノナルモ今日云フ所ノ狹義ノ憲法ノ理說ハ近代ニ發生シタルモノニシテ僅々三百年前ニハ見サリシ所ノモノナリ然レハ明カニ何時此意味ニ爲リシトハ言ヒ難ク自然ニ發達シテ遂ニ爰ニ至リタルナリ概言スルニ今日論スル憲法思想ハ數世紀前キニ發生シ當世紀ニ至リ完成シタルモノト云フヘキナリ故ニ憲法ナル學科ハ他ノ政治學科ニ比スレハ大ニ新シキモノナリ憲法ノ政治上ニ用ユル廣キ意義ハ左ノ如シ曰ク憲法ハ政治組織ヲ定ムル所ノ法則ナリ政治組織トハ所謂社會組織等ニ對スル語ニシテ主權者被治者ノ關係定マルト同時ニ成立ツ所ノモノ則チ被治者主權者ノ分ル、夫レ自身カ政治組織ナリ此意義ニヨレハ何レノ社會ヲ問ハス政府ノ形アレハ必ス政治組織アリ政治組織アレハ必ス憲法ナカル可ラス故ニ如何ナル野蠻國ニテモ憲法ナキ所ナ

十  
少唯其憲法カ成文ナルカ或ハ不文ナルカノ差アルノミ此ノ意味ヨリシテ「コン  
スチテューション」ニ往々政体ナル譯語ヲ付セリ憲法ノ狹キ意義ハ學者ニヨリ  
テ種々定義ノ下シ方異ナルガ其一ヲ舉レハ「憲法ハ主權ノ分配及ヒ其使用ヲ支  
配スル條規ナリ」ト茲ニ用ユル所ノ主權ハ則チ彼ノ最上政權ノ意ナリ此定義ニ  
ヨレハ政權ノ分配則チ司法立法行政ノ區別其職權ノ分配及ヒ其權力ノ使用ヲ  
制限スル規則即チ憲法ナリト云フニアリ此意義ハ稍ヤ漠然トシテ廣キ意義ナ  
ル憲法ノ定義ト對照シテ說クニハ不適當ナルカ如シト雖モ此定義ナルモノハ成  
ルヘク少ナキ語ヲ以テ其性質ヲ言ヒ見ハスチ善シトスレハ愛ニ之ヲ採レリ然  
レモ之レノミニテハ近代ニ起リシモノナルトノ感觸ヲ與フルノ力ニ乏シケレ  
ハ尙ホ他ニ一ツノ定義ヲ示サン則チ「憲法ハ治者被治者ノ關係ヲ正シ官民ノ分  
限ヲ定メ官人ノ職權民人ノ權利ヲ示スモノナリ」ト此定義ハ故人小野梓氏ノ國  
權汎論ニ載スル所ニシテ論理上ヨリ云ヘハ全事ヲ屢重複シ善良ナル定義ニハ  
非サレモ大ニ解シ易キノ利アリ故ニ正當ナル定義トシテハ前者ヲ取ルヘシ後  
者ハ只便宜ノ爲メニ述ヘタル者ナリ茲ニ一ノ注意スヘキハ後ノ定義ノ官人ノ

職權民人ノ權利ヲ示ス者ナリトアルチ前ノ定義ニ比照スルニ官人ノ職權ヲ定  
ムルハ主權ノ分配使用ヲ云ヒ民人ノ權利ト云フハ自ツカラ其中ニ籠レル事是  
ナリ民人ノ權利トハ所謂公權則チ政治上ノ權ヲ示シタル語ニ公權トハ被治  
者ノ主治者ニ對シテ有スル權利ヲ云フ人民カ兵役ヲ務ムルハ公義務則チ治者  
ニ對スル義務ニノ反之自己ノ損害ヲ受クル事アレハ法律ニ依頼シ其救濟ヲ得  
ルハ人民ノ權則チ公權ナリ此民人ノ權ヲ定ムルハ憲法ノ一ノ職分ニ此意味  
チ前ノ定義中ニ含蓄セル所以チ例ニヨリテ説明センニ主權ノ分配使用ヲ制限  
スルトハ例ヘハ北米合衆國憲法ノ立法權ヲ定メタル章ノ壹ヶ條ニ於テ國會ハ  
既往ニ遡ルノ法律ヲ制定スルヲ得スト規定セリ既往ニ遡ルノ法律ヲ制定スル  
ハ國會ノ權利ニ非ス則チ無効ナル者ナリ此箇條ハ則チ主權ノ使用ヲ支配スル  
條規ナリ今之ヲ裏面ヨリ見ルモハ人民ハ此ノ如キ不法ノ法律ニ束縛セラレサ  
ル權利ヲ有ス是則チ民人ノ權利ナリ因是觀之ハ小野氏ノ定義ニ民人ノ權利ヲ  
定ムト云ヘル者ハ前ノ定義中ニ自ツカラ含蓄セルモノタルチ知ルヘシ  
然ルニ未ダ此レノミニテハ足ラサルモノアリ憲法ノ其實効ヲ奏スル事則チ主

權者ノ權力ヲ實際ニ制限シ得ルニハ必ス民人ニ於テ多少參政權ヲ有セサル可  
 ラス然ラサレハ決シテ之ヲ制限スル能ハス即チ當今ノ憲法思想ノ中心ニハ必  
 ス人民ノ參政權ナルモノ籠レリ故ニ人民ニ多少ノ權利ヲ與ヘ主權者ノ政權ノ  
 使用ニ條規ヲ立ツルモ其人民ニ毫髮ノ參政權ヲ與ヘサルキハ其憲法ハ今日ノ  
 意義ナル憲法トハ云フ能ハス尙ホ一步進ノテ云フキハ人民ハ名義上參政權ヲ  
 有スルノミナラス實際之ヲ使用セサル可ラス之ヲ使用スルニハ其機關則チ代  
 議院ナル制度必用ナリ代議院ハ則チ人民ノ代議士ヨリ成立ツモノナリ故ニ之  
 チ簡約スレハ憲法ハ人民ノ參政權ヲ中心トシ代議制度ニヨリテ其作用ヲ示ス  
 ヘキモノナリ因ニ云フ今日政治上ニ於テ代議政体或ハ立憲政体ト云フハ當今  
 謂フ所ノ憲法ノ意義存在セル政体ヲ云フ英國ノ如ク皇帝ヲ戴クモノ合衆國ノ  
 如ク大統領ヲ置クモノ皆同シク立憲政体ナリ然ルニ他ノ一方ヨリ見レハ代議  
 ノ行ハル、政体ハ盡ク代議政体ナレハ立憲政体ニシテ代議政体ナラサルハナ  
 シ代議政体ニシテ立憲政体ナラサルハナシ然レハ此事タル嚴正ニ云フキハ學  
 理上ノ理ニ非スシテ偶然ナル歷史上及ヒ社會ノ事實ヨリ互用セラル、事ニシ

テ人民ノ參政權代議ノ他ニ用ヒラル、ノ方法アラハ立憲政体必スシモ代議政  
 体ナラス然レハ今日ニテハ立憲政体タランニハ代議政体ニヨルノ外方法ナキ  
 カ故ニ自然立憲政体ハ必ス代議政体トナルナリ  
 右所述ノ旨趣ヲ推シテ之ヲ開説スレハ憲法ニハ二重ノ職分アリト云フヘシ第  
 一ニハ主權者ノ何物タルヤチ明ニスル事則チ一國ニ於テハ誰カ政權ヲ司ルヤ  
 且ツ其主權ノ分配使用ヲ定ムル事第二ハ被治者ノ治者ニ對スル權利ヲ明ニス  
 ル事はナリ此二段ノ職分ヲ例チ以テ説明スレハ立法者ハ皇帝、貴族、人民ノ代議  
 士ノ三者集リテ之ヲ司リ又司法權ハ獨立不羈ニシテ行政者立法者ニ拘束セラ  
 レサル者ナル等ノ事ハ第一段ノ職分ナリ何人ト雖レ正當ノ法律上ノ手續ヲ履  
 ムニ非レハ其身體ヲ拘束セラル可ラスト憲法ニ定ムレハ此箇條ハ則チ第二段  
 ノ職分ニ屬スルモノナリ又何人ト雖レ法律ノ式ヲ履ムニ非レハ財產ヲ奪ハル  
 可ラスト云フカ如キハ皆被治者ノ主治者ニ對スル權ヲ明ニスルモノナリ又請  
 願ノ權、言論ノ自由ヲ明ニスルモ亦皆第二段ニ屬スル者ナリ然レハ諸國ノ憲法  
 ニヨリ此箇條ハ第一段ニ係ル此箇條ハ第二段ニ係ルト各箇條チ一々此二段中

Written constitution.  
Unwritten constitution.

ニ定ムルハ到底ナス能ハス唯大体ニ於テ憲法ハ二重ノ職分ヲ爲スト云フニア  
リテ其定メ方ニヨリテ一箇條ニシテ二段ニ解セラル、モノアルヘシ然レモ其  
區別シ難キモノアルカ爲メニ此二段ノ職分ナシト云フ可ラサルナリ扱之レヨ  
リ憲法ノ種々ノ名稱種類ニツキテ之ヲ説カン  
憲法ニツキ普通ニ唱フルモノハ成文憲法不文憲法之レナリ佛蘭西、獨逸ノ憲法  
ノ如ク紙面ニ書シタルモノハ成文憲法ナリ英吉利ノ如ク習慣ヨリ成立チ總体  
カ箇條書ナラサルモノハ不文憲法ナリ此區別ハ普通ニ用ヒラル、者ナレモ學  
理上ヨリ云ヘハ穩當ナル區別トハ云フ可ラス勿論之ヲ用ユルモ可ナレモ此區  
別ヨリ生スル混雜ヲ避ケサル可ラス今其混雜スル点ヲ示サン先ツ成文憲法、不  
文憲法ハ憲法全体ノ名稱ナルヤ又一部分ノ名稱ナルヤヲ區別セサル可ラス成  
文ト云ヒ不文ト云フハ多クハ憲法全体ニ用ユレモ往々憲法ノ一部分ノ名稱ト  
シテ用ヒラル、事アリ北米合衆國ノ千七百年代ニ定メタル憲法ヲ云フキニ成  
文憲法ト云ヘハ之レ全体ヲ云フモノナリ英國ノ千二百年代ニ定メタル「マグナ  
カータ」(大典ト譯ス)又ハ千六百八十九年ニ定メタル「ビル、オフ、ライツ」(權利ノ典ト

Enacted constitution  
Cumulated

譯ス)ノ如キモノハ英國ノ不文憲法ノ一部分ヲ爲スモノニシテ其一部分ヨリ云ヘ  
ハ英國ノ成文憲法ナリ然レモ之レ英國憲法ノ全体ニ非ス只一部分ナリ故ニ此  
裏面ヨリ云フトキハ不文憲法ナレハトテ盡ク習慣格言ヨリ成立スルモノニ非  
ス一部分ハ成文ナルモ其全体カ成文ヨリ成立タサレハ之ヲ不文憲法ト云フ故  
ニ英國ニ「マグナカータ」「ビル、オフ、ライツ」ノ如ク書カレタルモノ有ルモ英國憲法  
ハ成文憲法ナリト云フ能ハス此ク論シ來レハ成文不文ノ別ハ書レタルモノ書  
レサルモノトノ事ノミニテ之ニヨリテ政治學者ノ云フ深長ナル意味ヲ説ク能  
ハス故ニ他ノ適當ナル語ヲ以テ之ニ更ヘサル可ラス其適當ナル語ハ成文憲法  
ニ更ユルニ制定憲法ヲ以テシ不文憲法ニ更ユルニ積成憲法ヲ以テス此名稱ニ  
ヨリ憲法ノ二類各別ノ性質ヲ解示スヘシ是レハ「ハーリー、バード」氏ノ選ヘル稱謂ニシ  
テ政學社會ニ大ニ使用セラル、者ナリ制定憲法ハ原語「エン、アクト、ド、コンス  
チテューション」(積成憲法ハ原語之ヲ「キユミレ、テッド、コンスチテューション」  
ト云フ  
制定憲法トハ格段ナル時ニ於テ格段ナル人ノ制定スル憲法ナリ其形ハ成文タ



リ積成憲法ハ已ニ其文學ニ見ハル、カ如ク格段ナル時ニ在テ格段ナル人ノ特ニ制定編纂シタルモノニ非スシテ幾百年幾時代ヲ經歷シタル間ニ發成シタル法律習慣制度及君民ノ約定等ノ累積シテ自然ニ生出シタル憲法ナリ故ニ假令其一部分ハ明文ヨリ成立スルモノアルモ其大躰ノ性質ヨリ之ヲ云ヘハ不文ナリト謂ハサルヲ得ス故ニ積成憲法ハ其之ヲ編成シタル時ト人トヲ舉指スルハ終ヒニ能ハサル所ナリ制定憲法ト積成憲法ノ二者ヲ對比照合スルトキハ如此明瞭ナルカ如シ然レモ細密ニ考查スルキハ亦頗ル模稜トシテ其何レニ屬スヘキヤヲ疑フモノナキニ非ス故ニ猶ホ進ンテ之ヲ詳説スルニ先ツテ一言スヘキコトアリ制定憲法ト積成憲法ニ種々ノ類別アルコト是レナリ凡ソ憲法ニ欽定約定民定ノ三種アリ(一)一國ノ君主獨裁ヲ以テ制定スル所ノモノ之ヲ欽定憲法ト云フ假令ハ土耳其帝國ノ一千八百七十年頃ニ於テ始メテ立憲政治ヲ行ハシカ爲メ獨裁專權ヲ有スル皇帝自ラ憲法ヲ制定シ政權ノ幾分ヲ以テ其人民ニ賦與シタルカ如キ是ナリ(二)一國ノ君主ト其人民ト協議シテ制定シタルモノ之ヲ約定憲法ト云フ彼一千八百三十年頃佛王フキリツプ第四世ト人民ノ間ニ於ケ

ル約定ノ如キ是ナリ而シテ此約定憲法ヲ細別スレハ猶ホ一ノ種類アリ即チ聯邦ヲ建造スル所ノ國ニ於テ各聯邦間ニ定ムル憲法是ナリ抑モ邦國ニ單純ナル國躰ト複雜ナル國躰トノ二様アリ單純ナル國躰トハ日本支那ノ如ク純粹ナル一國ヨリ成立ツモノヲ云ヒ複雜國躰トハ獨逸聯邦ノ如キ是ナリ今日ニ在テハ獨逸帝國ト云フト雖モ原ト獨立ノ數小邦各其獨立ヲ維持スルカ爲メ利益上ヨリ聯合シタルモノナリ業ニ已ニ一タヒ聯合シタル以上ハ亦從ツテ其間ニ憲法ノ制定ナカル可ラス即チ獨逸ノ憲法ノ如キハ約定憲法ノ一種ナリ是ニ由テ考フレハ單純ナル國躰ニ在テハ其憲法ヲ制定スルヤ君主ト國民ノ間ニ在リト雖モ複雜ナル國躰ニ在テハ則チ國ト國トノ間ニアルヲ知ルヘシ(三)一國ノ人民全體ノ定ムル所ノモノ之ヲ民定憲法ト云フ夫ノ一千七百年代北米十三州同盟シテ英國ノ羈軛ヲ脱シ獨立スルニ當リ制定シタル憲法ノ如キ是ナリ以上講述スル所チ一括シテ更ニ觀察テ下スキハ欽定憲法民定憲法ノ二者ハ俱ニ君主若クハ人民ノ獨裁ヲ以テ制定スルカ故ニ其之カ對手タルモノナシト雖モ約定憲法ハ然ラス君主ト人民ノ協合約諾ヨリ生スルモノナレハ必ス其對手ナカル可ラ

サルナリ

是ヨリ再ヒ前ニ立戻リ積成憲法ト制定憲法ノ性質ヲ詳説セシニ第一積成憲法ハ明文ヲ記載シタル法律即チ形迹ノ現存スルヲ以テ其範圍モ亦一目瞭然タリ苟モ其紙片ニ記載シタル所ヲ取テ之ヲ一見スレハ更ニ疑フヘキ所ナシ既チ獨逸佛蘭西ニ於ケル憲法ノ如キ其排列記載シタル明文ノ外復タ夫ノ所謂憲法ナル者ナシ然ルニ積成憲法ハ幾百年ノ間ニ於テ自然ニ發達シ法律習慣等ヨリ成立ツ故ニ漠然タルヲ免レス假令一部ノ成文ニ明記シタルモノアルモ多クハ其成文以テ徴ス可ラサルモノナレハ之ヲ一括シテ秩序整然一目明瞭ナラシムルハ到底ナシ能ハサル所ナリトス第二制定憲法ハ一旦制定シタルトキハ苟モ之ヲ廢滅更改スルニ非スノハ設ヒ道理ニ適セサルコトアルモ又不利ナルコトアルモ其人民ニ在テハ必ス憲法トシテ遵奉セサル可ラス之ニ反シテ積成憲法ハ何時何人ノ制定シタルト特指ス可ラサル者ラルカ故ニ其變遷進步モ亦冥冥ノ中ニ潛運黙移シ敢テ人爲ノ廢改ヲ須ヒサルナリ今年如此習慣アルモ明年如彼制度ニ變セサルナリ期ス可ラス其變遷進化ノ狀ヲ明示スルハ實ニ至難ナリトス譬フ

ルニ猶ホ草木ノ花ノ如シ陽春和煦ノ季節ニ至レハ百花爛熳タルハ人皆見知スル所ナリト雖此花ハ何日何時ニ於テ蕾ヲナシ何日何時ニ於テ幾分ヲ開放セルヤニ至テハ絶テ明示スル能ハサルナリ故ニ曰ク積成憲法ノ變遷進步ハ一畫シ以テ之ヲ明示ス可ラスト第三制定憲法ハ容易ニ變更スルコト難シ若シ屢々變更スルキハ朝令暮改ノ訕リヲ招キ法律ノ威嚴ヲ傷ヒ其効力ヲ薄弱ナラシムルノ傾アルヲ免レスト雖此積成憲法ニ不知不識ノ間ニ改革行ハル、ヲ以テ決シテ此等ノ虞アルコトナシ是制定憲法ト積成憲法ノ利害得失各々存スル所ニシテ憲法ヲ講究スルモノ、忽ニス可ラサル所ナリ第四制定憲法ハ純粹ナル法律ニシテ他ノ公法タル刑法治罪法等ト同一ナリ故ニ其憲法ニ明載シタル法文ノ外復タ德義的ノ條規ヲ含蓄スルコトアルナシ例ヘハ北米合衆國ノ憲法ニ大統領ノ就任ハ四年ニシテ滿期ニ至リ再撰セラル、ヲ得トノ明文アルモ三撰セラル、ヲ得ルノ規定ナキニ當リ或政治家之カ説ヲナシテ曰ク如斯明文ナキハ三撰セラル、ヲ得ヘカラス好シ三撰セラル、コトアルトモ其大統領タルモノ宜シク之ヲ辭シテ退職スヘキハ當然ナリトナシタリト假定セヨ是政治上ノ德義ニシ

テ法律ニ非サルナリ故ニ三撰セラレタル大統領ニシテ其説ニ從ハス敢テ三タ  
 ヒ就任スルモ以テ法律ニ背戻スルノ所爲トナス可ラス其然ル所以ハ他ナシ該  
 所爲タル全ク法律ノ規定外ニシテ其人ノ自由ニ任スヘキモノナレハナリ然レ  
 モ若シ此事ヲシテ積成憲法ヲ遵奉スル英國ニ在ラシメハ則チ其説ハ純粹ナル  
 憲法ニシテ其所爲ハ正ニ憲法ニ背戻シタルモノナリ今一例ヲ舉テ之ヲ證セン  
 ニ英國ノ内閣組織ノ命ヲ受ケタル大臣ハ自己ト同黨ノ人ヲ援擧シテ内閣ヲ組  
 織スヘキ義務アリ又内閣宰相ハ國會ニ提出シタル重要法案ヲ排斥セラレタル  
 キハ一同辭職スヘキモノトセリ此三者共ニ政治上ノ德義タルニ過キス故ニ政  
 治家タルモノ自己ノ任意ヲ以テ同黨ノ人ヲ援カス又辭職セサルモ敢テ法庭ニ  
 訴ヘラレ法律ノ制裁ヲ受クルコトナシ然レモ英國ニ在テハ此德義的ノ條規ハ純  
 然憲法ナリト奉信シテ疑ハサルナリ第五制定憲法ノ國ニ於ケル立法部ノ立法  
 權ハ必ス其憲法ニ規定スル所ノ範圍外ニ出ツルヲ得サルカ故ニ多少其立法權  
 ナ法律上ニ制限セラル、モノト謂フヘシ然ルニ英國ノ如キ政体ニ在テハ其立  
 法部ノ立法權ハ法律上ノ制限ヲ受クルコトナシ

(1) Legal Limitation

第三回

前回ニ續キ積成憲法ト制定憲法ノ區別アル要點ノ最終ニ對シ未ダ盡サ、ル所  
 ナ講セン

(1)

積成憲法ニハ法律上ノ制限ナシト雖モ制定憲法ハ則チ必ス法律上ノ制限ヲ受  
 ヲ今其區別ヲ明瞭ナラシメンカ爲メ一例ヲ擧ケンニ北米合衆國ノ立法部ハ常  
 ニ成文憲法上明定シタル所ノ範圍内ニ運動セサル可ラス若シ其立法部タル國  
 會ニシテ憲法ノ成文ニ背戻シタル法律ヲ制定スルキハ絶テ法律ノ効力ナシ故  
 ニ其國民ニ在ツテモ亦之ヲ遵奉スル義務ナキヲ以テ假令其之ヲ犯スコアルモ  
 法廷ニ訴ヘラレテ其制裁ヲ受クルノ虞ナシ之ニ反シテ積成憲法ノ國柄タル英  
 國ノ國會ニシテ今日憲法ト稱セラル、主義ニ背戻スル所ノ法律ヲ制定スルモ  
 敢テ法律タルヲ妨ケス故ニ其國民ニ在テハ必ス之ヲ遵奉セサル可ラス即チ其  
 政治上若クハ德義上ニ於テ不是ナリト云フヲ以テ其法律ヲ無効トナス能ハス  
 是他ナシ積成憲法ノ國柄ニ在テハ其立法部ノ立法權ヲ制限スル所ノ成文法律ナ

(イ) Unconstitutional  
(ロ) Illegal

(ロ) Rigid Con  
(イ) Dickey (ハ) Flexible

キヲ以テ之カ立法部タルモノ何如ナル法律ヲモ制定シ得ヘケレハナリ是ニ由テ推究スルキハ制定憲法ノ國ニ於テ憲法ニ背クト云フ詞ト不法ト云フ詞ト通用スルヲ得ヘシト雖モ積成憲法ノ國ニ在テハ憲法ニ合ハスト云フヲ得ヘキモ不法ナリト云フ能ハサルナリ此故ニ制定憲法ハ純粹ナル法律ノ性質ヲ有シ積成憲法ハ純粹ナル法律ノ性質ヲ有セスト云フモ可ナリ然レモ之ノミヲ以テ積成憲法ハ憲法ニアラスト速了スルヲ得ス世間往々此說ヲ唱フルモノアリト雖モ是憲法ヲ以テ種メテ狹隘ナル意義ニ解スルヨリ來ル所ノ誤見ナリ凡ソ一國ノ政治組織ヲ規定スル所ノ憲法ハ必シモ制定ヲ要セス等シク公法ナリト雖モ刑法治罪法等ノ如キ者トハ自ラ其性質ヲ異ニシテ政治的ノ者ナルカ故ニ同一ニ論定スヘキモノニ非サルナリ故ニ曰ク純粹ナル法律ノ性質ヲ有セサルモノハ憲法ノ効力ナシト云フヲ得スト然リ而シテ此立法權ノ制限ヲ受クルト受ケサルトニ因テ近頃英國ノ學者憲法ニ向テ學理上一ノ新ナル名稱ヲ撰定シタリ硬質憲法軟質憲法是ナリ一國立法部ノ立法權ニシテ法律上ノ制限ヲ受クルモノハ其憲法硬強ニシテ容易ニ其形狀ヲ變更スルコトナシ故ニ之ヲ硬質憲法ト稱ス

ス然ルニ其立法權ニ法律上ノ制限ナキモハ其憲法モ亦從テ増減變更スルノ傾向アルヲ以テ之ヲ軟質憲法ト稱ス夫レ如斯或ハ積成ト云ヒ或ハ硬質ト云ヒ軟質ト云ヒ其名稱種々ナリト雖モ之ヲ要スルニ普通ニ稱スル所ノ成文不文ノ意義ヲ指スニ過キス然レモ唯タ其成文不文ナル文字ハ學理上恰當ナラサルカ爲メ之ヲ精擇更置スルノミ

扱此二種ノ憲法ニ關シテ其得失ヲ論スルハ之ヲ政治論ニ讓リ只其重要點ナリト思惟スル所ヲ一言シ置カン抑モ制定憲法ニ在テハ其規定スル所ノ目瞭然社會ノ公衆皆之ヲ熟知シ隨テ自ラ社會ノ秩序ヲ維持スル程度ヲ高ムルノ利益アリ然レモ一利存スル所一害必ス之ニ伴フハ事物必然ノ勢ニシテ制定憲法ハ時勢ノ變遷ニ適應シ其宜キニ協フノ力薄シ而シテ其極ヲ維持セシト欲スル社會ノ安寧ヲ却テ却テ之ヲ攪亂セシメ確固ナラシメント欲スル所ノ政體ヲ却テ却テ之ヲ破壊セシムルノ不幸ヲ見ルニ至ルコト往々之レナシトセス此畢竟不變不易ノ法律其社會ノ勢ト撞着スルニ由ルナラン之ニ反シテ積成憲法ハ時勢ノ變化ト終始シテ絶テ其滯滯衝突ノ憂ナシト雖モ前ノ利益ハ之ヲ制定憲法ニ讓ラサ

ルチ得ス彼一千八百五十一年ナポレオン三世ノ佛國共和政治ヲ破壊シテ君主政體ヲ建設シタルカ如キモ固定不動ノ憲法之カ原因タラスンハ非サルナリ當時ナポレオン三世ハ身天下ノ望ヲ繫キ旭日ノ勢ヲ以テ永シ佛國出頭ノ政治家タラント熱望スルモ如何セン其統領ニ再撰セラル、コハ佛國憲法ノ許ササル所ナリ憲法ヲ改正センカ立法部四分ノ三以上ノ多數ノ賛成ヲ得サル可ラス四分三ノ賛成ヲ得ルハ容易ナラス是ニ於テカ寧ロ其成否ヲ一擧ニ決スルニ如カストノ意想ニ出テサリシト云フヘカラス夫レ千八百五十一年ニ於ケル佛國革命ノ原因ハ固ヨリ之ニ止マラスト雖モ若シ當時佛國チシテ流通變應ノ積成憲法ナラシメハ革命ヲ避ケ得シヤモ知ルヘカラス是レ成文法ノ短所ヲ示ス著明ノ証例ト云フヘシ余惟ミルニ制定憲法積成憲法二者ノ得失論ハ固ヨリ種々様々ナルヘキモ前述ノ點ハ衆論ノ歸宿スヘキ論据ナリトス

以上積成憲法ト制定憲法ノ區別ヲ講述セリ是ヨリ更ニ進テ憲法ニ明定スヘキ要點如何ヲ研究セン

凡ソ一國ノ政治組織ヲ定ムル所ノ憲法ニ於テ先ツ規定スヘキ主要ノモノハ(一)

主權ノ成分即チ立法、行政、司法權ノ事(二)君主政治ニ在テハ帝位ノ繼承共和政治ニ在テハ大統領ノ撰任方法(三)君主大統領ノ有スヘキ政權(四)議會ノ成分即チ國會ヲ組織スヘキ人及其撰舉方法(五)行政機關ノ組織及方法即チ諸官衙ノ排置職務(六)護國ノ要具タル陸海軍ヲ支配スル方法(七)中央政府ト地方政府ノ關係(八)一人ノ國家ニ對スル義務及國家ノ一人ニ對スル義務等ハコレ其憲法ニ於テ規定スヘキ主要ナルモノ、概要ナリ

扱又制定憲法トシテハ大ニ適當セスト雖モ積成憲法ニ在テハ却テ主要契緊ナルモノアリ英國憲法ノ如キハ則チ二種ノ規則ヨリ成立セリ一ハ法律上ノ規則一ハ法律ニ非サル德義的ノ規則是ナリ法律上ノ規則トハ其規則ノ現存ニ依テ裁判所之ヲ法律ト認視スルモノヲ云ヒ德義的ノ規則トハ社會ノ輿論ヨリ生シ冥冥ノ中ニ存スルモノニシテ裁判所ノ認視セサルモノヲ云フ例ヘハ英國ノ憲法ニ於テ皇帝ハ人民ノ負ハサル可ラサル法律上ノ義務ヲ免除スル權利ナシトノ規定アリ然ルニ皇帝ノ隨意ヲ以テ或人民ノ犯罪ヲ免赦スルコアリト假定セヨ裁判所ハ之ニ拘ハラヌシテ猶ホ之ヲ法律ニ照ラシテ處分スルヲ憚ラサルカ

如シ此裁判所ハ憲法ノ明文ヲノミ認視スルニ在レハナリ德義的ノ規則トハ今日英國政治社會ニ於テ皇帝ハ國會ノ議定シタル法案ヲ否認スルノ權利ナシト云フカ如シ然レモ未タ之ヲ規定スル所ノ明文アルコトナシ否ナ適々ニナキノミナラス却テ之ヲ否認スルノ權力ヲ有ストノ明文アリ故ニ假令國會ニ於テ議定シタル法案ナリト雖モ皇帝之ヲ否認シタルモノナルキハ裁判所其法ヲ以テ無効トナスヲ得ヘシ唯其政治上ノ德義ヨリ之ヲ否認セサルニ過キサルノミ茲ニ一言注意シ置クヘキコトアリ即チ前ニ英國ノ立法部ノ立法權ハ法律ノ制限ヲ受クルコトナシト云ヒ今又此ニ法律上ノ規則ト云ヘハ殆ソト撞着スルニ似タリト雖モ其實決シテ然ルニ非ス之ヲ立法上ヨリ云フキハ法律上ノ規則及德義上ノ規則共ニ純粹ノ法律ニ非ス其二者ノ區別ヲナシタルハ單ニ裁判所ノ認視シテ法律トナスト否トノ點ヨリ論シタルノミ

### 第五回

前回ニ於テ各種憲法ノ性質上異ナル所ノ要點ヲ講述シタリ依テ今日ハ其憲法

上明定スヘキ重要ナル各項ニ就テ逐次詳説セシ

凡ソ立憲政體ノ神髓骨子トナル所ノ憲法ハ一國大政ノ源泉ニシテ其範圍宏遠之カ關係モ亦タ極メテ錯綜纏綿ナリト雖モ之ヲ概括シテ一言スルキハ則チ政治機關ヲ解剖シ其各部分ノ性質効用ヲ明ニシ且ツ政府即チ治者ノ被治者ニ對スル關係如何ヲ確定スルモノナリ更ニ之ヲ區別シテ論スレハ其第一段ニ於テ政治機關ノ事ヲ明ニシ第二段ハ則チ政府人民ニ對スルノ關係ヲ定ムルニ在リ故ニ今其憲法ニ明定スヘキ各種ノ事項ヲ研究セシハ先ツ其政治機關ヲ組織スル所ノ立法、行政、司法、諸權ノ事ヨリ之ヲ始メ遂ニ其組織及ヒ相互ノ關係ニ及ホサ、ル可ラス仍テ右ノ順序ニ從ヒ先ツ立法部ノ事ヨリシテ開説セシ

第一 立法權 現時歐米各國ニ於テ苟モ立憲政體ヲ有スル邦國ハ必ス立法、行政、司法ノ三權ヲ區別シ各々其權力ノ範圍ヲ明定セサルハナシ而シテ實際政治上ニ於テ如此三權ヲ區別シテ互ニ相侵サ、ルニ至リシハ實ニ十七世紀ニ始レリ國家ノ基本タル憲法ニハ先ツ立法權ノ屬スル所ヲ明定セサル可ラス而シテ各國憲法ノ實況ヲ通觀スルニ皆ナ然ラサルハナシ例ヘハ北米合衆國ノ憲法第

一章ニ於テ其立法權ハ代議士院及元老院ノ二者ヨリ成立スル所ノ國會ニ屬スルヲ明定セリ然レモ其立法權ハ合衆國憲法ト稱スル所ノ法律ニ制限セラレタルモノニシテ英國ニ於ケル立法權ノ法律上ノ制限ナキ比ニ非サルナリ又其行政權ハ大統領ニ屬シ(第二章)司法權ハ至高法院(第三章)ニ屬スルモノトセリ又自耳義國ノ憲法ニハ第二十六條ニ於テ其立法權ハ國王元老院代議院三者ニ屬シ行政權ハ單ニ國王ニ屬シ(第二十九條)司法權ハ至高法院ニ屬スルモノトセリ(第三十條)又普魯西ノ憲法ニ於テハ其立法權ハ皇帝貴族院代議院ノ三者ニ屬シ行政權ハ獨リ皇帝ニ屬シ司法權ハ裁判所ニ屬スルモノトセリ夫レ如此三權ヲ區別シテ各其屬スル所ヲ異ニスルハ各國殆ト其揆ナ一ニスルカ如シ而シテ未タ嘗テ一人ニシテ三權ヲ兼有スルモノ之レアラサルナリ以上舉示スル所ノ實例ハ明文憲法ノ國ノミナリト雖モ敢テ明文憲法國ニ限リテ然ルニ非ス不文憲法ノ國ニ於テモ猶ホ三權ノ區別確乎トシテ其分屬スル所ヲ異ニセリ即チ英國ノ如キ其立法權ハ皇帝及ヒ上院下院ノ三者ニ屬シ行政權ハ專ラ皇帝ニ屬シ司法權ハ裁判所ニ屬スルモノトセリ

立法權ヲ掌ル所之ヲ立法部ト云フ此立法部ノ組織ナルモノハ唯ニ純粹ノ政治理論ヲ以テ漫然一定ノ法則ヲ立ツル能ハスシテ必ス各國國體ノ異別ナルニ從ヒ其組織ヲ異ニセサル可ラス例ヘハ佛蘭西及北米合衆國ノ如キ國民全体ノ上ニ君主帝王ト稱スヘキ者ナキ之ヲ非君治國ト云フ又獨逸ノ如ク英國ノ如ク君主ヲ有スル者之ヲ君治國ト云フ又獨逸瑞西ノ如キ數多ノ邦國聯結シテ一國ヲ成スモノアリ之ヲ複雜國體ト云フ我日本ノ如キハ即チ單純國體ナリ國體ノ複雜ト否トニ依テ立法部ノ組織ヲ異ニセサル可ラス君治國ト否トニ依テモ亦然リ又其國ニシテ貴族ノ制度アルトナキトニ依テモ之カ立法部組織ヲ異ニセサル可カラス即チ佛米ノ法則ヲ以テ之ヲ英獨ニ置ク能ハサルナリ今若シ前述ノ事實ニ就テ之ヲ徵センニ普及英ノ如キ其君主ハ專ラ行政權ヲ掌リ兼テ立法部ハ一成分タリ然ルニ佛米ノ如キ非君主國ニ在テハ大統領ハ單ニ行政長官タルノミニシテ立法部ノ成分ヲナスコトナシ是レ憲法ノ明文上ニ於テ明ナリ其然ル所以ノ理由ハ他ナシ元來共和政體ノ國ニ在テハ國家ノ元首タル大統領政權ノ本源ニ非スシテ國民全体ヲ以テ之カ本源トナス説ヲ取レハナリ故ニ政權ノ神

隨タル立法權ヲシテ之ヲ大統領ニ掌握セシムルハ正ニ其政體ノ主義ニ背反  
 スルニ至ラン且ツ夫レ共和政體ナルモノハ彼ノ三權獨立ノ說勢力ヲ得テ尊重  
 セラレ實行セラル、ノ結果トシテ流出シタルモノナレハ其行政長官タル大統  
 領ヲシテ立法權ヲ掌握セシムルハ是亦三權獨立ノ主義ニ背反スルモノナリ  
 トナスニ在リトス如此述ヘ來レハ人或ハ疑ヒ曰ハソ彼ノ君主國ナリト雖モ三  
 權獨立ノ主義ハ必ス其政治上實際ニ行ハレサルコトナシ然ルニ其君主タルモ  
 一方ニ於テ行政長官トナリ一方ニ在テ立法權ノ一成分タルハ夫ノ三權獨立ノ  
 主義ニ撞着スルナキヤト然レモ君主國ノ君主ハ共和政體ノ大統領ニ異ナリテ  
 一國萬政ノ本源タリ且ツ始メヨリ之ヲ戴カスハ則チ已マン苟モ之ヲ立テ、  
 君主トナシ至貴至尊ノ位置ニ推ス以上ハ亦之ヲシテ至貴至重ノ立法權ニ與ラ  
 シメサル可ラサルハ自然ノ勢理ナリ抑モ立憲政體ノ由テ創起スル所ヲ尋繹ス  
 ルニ何レノ立憲君主國ナリト雖モ其始メ新ニ國民協同ノ會議ヲ開キ特ニ創設  
 シタルモノニ非スシテ固ト獨裁專制ノ君主政ノ進歩人智ノ發達ニ從ヒ漸次其  
 政權ヲ割テ之ヲ人民ニ分與シタルモノナリ事迹既ニ然リ故ニ今日ノ立憲君主

國ノ君主概チ其立法權ノ一成分タラサルハナキナリ此等ノ道理ニ基キ推考ス  
 ルキハ君主國ト非君主國トハ其立法部ノ組織ヲ異ニセサル可ラス決シテ一様  
 ノ法則ヲ適用ス可ラサルコト明白ナリ又非國主君ニ於テハ絶ニテ世襲主義ノ行  
 ハル、コトナシ所謂大統領ノ如キモ僅ニ終身タモ尙且其職ニ就任スルヲ得ス况  
 ノヤ世襲主義ヲヤ故ニ其立法部モ亦自然ニ更替スルノ性質ヲ有セリ然ルニ君  
 主國ニ在テハ其君主ハ勿論一種ノ貴族ナルモノアリテ世々其榮爵ヲ繼承シ業  
 務ヲ因襲シ永ク元老院ノ議員トナリ一國立法部ノ一成分ヲナセリ故ニ其立法  
 部ハ多少世襲主義ヲ含ムト謂フヘシ非君主國ノ立法部ニハ世襲ノ分子ヲ容レ  
 ス君主國ノ立法部ニシテ世襲主義ノ分子ヲ包含スルハ共ニ其宜チ得タルモノ  
 ナリ君主貴族ト世襲トハ共ニ併行兩立セサル可ラス苟モ貴族ナルカ故ニ世々  
 其業ヲ因襲シテ學識智徳ノ如何ヲ問ハス學識智徳ノ如何ヲ問ハサルカ故ニ世  
 々其門閥ヲ保有シ其業ヲ因襲スルヲ得ルナリ若シ夫レ門閥ヲ排斥シテ學識才  
 徳ヲ而已之レ重ニスルノ主義ナルキハ識徳アルモノ出テ、其道ニ當リ識徳ナ  
 キモノ去テ塾息ス勢此ニ至レハ君主頼テ其位ヲ保ッ能ハス貴族因テ生スル能



ハサルナリ故ニ曰ク非君主國ノ立法部ニ世襲ノ性質ナク君主國ノ立法部ニ世襲ノ分子ヲ含蓄スルハ與ニ其宜ヲ得タルモノナリト是ヨリ更ニ論点ヲ轉シテ立法部ヲ組織スル成分如何ヲ述ヘンニ單純國體ノ議院ト複雜國體ノ議院トハ之ヲ組織スル所ノ成分一様ナラサルナリ即チ獨逸ノ如キ複雜國體ノ立法部ハ帝國議會及ヒ聯邦參議院ノ二者ヨリ成立シ而シテ其帝國議會ハ國民一般ヲ代表スルモノナリト雖モ聯邦參議院ハ唯ニ各聯邦ノ政府ヲ代表スルニ過キス之ニ反シテ自耳義ノ如キ單純國體ノ立法部ハ元老院代議院ノ二者ヨリ成立シ而シテ國民一般ヲ代表スルモノナリト其憲法第三十二條ニ明記セリ之ヲ要スルニ其立法部ニシテ國民若クハ政府ヲ代表スルノ成分ヲ含蓄スルハ複雜國體ニ限ルモノニシテ決シテ單純國體ニ存セサルモノトス換言スレハ複雜國體ニ於ケル議院ノ某部分ハ民人ヲ代表セスシテ國家的資格ヲ有スル者ヲ代表シ單純國體ニ於テハ然ラサルナリト云フヘシ

## 第六回

立法部ヲ組織スル分子ノ最モ緊要ナル代議院ノ事ヲ說述セシニ今日歐洲各國ニ現存スル立憲政體ノ國ニ於ケル立法部則チ議會ハ殆ント二局議院ノ制度ヲ以テ普通トス其一局議院ノ單獨ナルモノハ絶テナク稀ニアル所ナリ然リ而シテ其二局議院ノ果シテ善長制度ナリヤ將タ一局議院制度ノ却テ利得ナルヘキヤハ諸學者ノ大ニ論難スル所ニシテ未タ一定ノ確說ナキナリ故ニ聊カ說示スル所アラント欲スレモ是固ト政治論ノ範圍ニ属スルモノナレハ後期ノ政治學ニ譲リ姑ク之ヲ擱ク夫レ一國立法部ノ主體トナリテ最モ重要ナル位置ヲ占ムルモノハ則チ代議院ナリ而シテ其代議院トハ各人民ノ撰舉シタル代議士ノ集合体ヲ指稱ス通常其上院ニ對シテ之ヲ下院ト云ヒ若シ又局ヲ以テ之名トナスキハ代議院ヲ以テ第一局院ト云ヒ上院ヲ以テ第二局院ト云フ凡ソ代議院ノ一國立法部ニ重要ナル分子タルハ前既ニ述フルカ如シ而テ其代議院ノ生氣本體トモ稱スヘキハ即チ所謂代表是ナリ此代表制度ハ立憲政體ノ神髓タリ基礎タルモノトス故ニ代議政體ヲ論センニハ先ツ此代表ナルモノ如何ヲ研究セカレ可カラス

代表トハ人民自由ニ代議士ヲ撰舉シ以テ自己ノ參政權ヲ行ハシムルノ謂ナリ故ニ此自由撰舉方法ニ依テ撰舉セラレタル代議士ハ人民各自ノ政權ヲ行フ所以ノ機關ナリ而シテ其人民各自ノ委任スル權力ノ性質如何ト云フニ即チ所謂立法權ナリ是ヲ以テ人民ノ自由ニ撰舉シタル代議士ノ行フ所ハ立法權ニ其代議士ヲ以テ組織スル所ノ代議院ノ職分ハ則チ立法ノヲ掌ルニ在リトス從來此立法權ヲ以テ司法行政ノ二權ト共ニ併稱スルト雖モ其性質ヲ精檢スルキハ三者決シテ同一ノモノニ非スシテ而モ立法權ハ萬政ノ根源トナリ更ニ一段優秀ノ位置ヲ占ムルモノナリ今此性質ノ一邊ヨリ偏斷スルキハ立法權ナルモノハ唯ニ一國ノ法律而已ヲ制定スルモノ、如ク見ユルト雖モ決シテ然ルニ非ス猶ホ一層廣濶ナル意味ヲ含蓄スルモノナリ然リ而シテ其性質ヲ精細ニ論述スルカ如キハ僅々數分時間ニ於テ到底ナス能ハス且ツ夫レ單ニ佛國ノ立法權若クハ英國ノ立法權ト云フカ如ク格段ナル立法權ヲ以テ格段ナル意義ニ解説スルハ頗ル容易ナリト雖モ一般ニ學術的ヨリ立法權ノ性質ヲ論斷スルハ極メテ困難ナルヲ以テ他日政治學ヲ講述スルノ時ニ讓フソ凡ソ一國政府ノナス所

ノモノハ悉ク法律ナリ而シテ其萬法ノ根源トナルモノ如何ト問ヘハ則チ終ニ立法權ノ一ニ歸宿ス故ニ今日ニ在テ一國人民ノ參政權ヲ得テ之ヲ使行セント欲セハ夫ノ立法權ヲ措テ他ニ求ムヘキモノナシ是現今歐米各國ノ立憲政體國ニ於ケル代議院ノ主トシテ立法權ヲ行ヒ人民ノ參政權ヲシテ立法上ニ顯ハス所以ナリ人民一般ノ參政權ヲ顯ハストハ即チ其代議士タルモノ人民一般ノ意思ヲ代表シテ法律ヲ制定スルノ謂ニシテ立憲政體ノ大主義ナリ而シテ苟モ代議院ヲ設クルノ國ハ人民ノ自由ニ撰舉シタル代議士ヲ以テ之ヲ組織スルハ掩フ可ラサルノ事迹ナリ若シ夫レ行政司法ノ如キハ之ヲ代議院ニ一任セスシテ寧ロ他ノ方法ニ依レハ却テ其人ヲ得ルニ便利ナルヘシ況ンヤ古今ノ歴史ニ徴シテ明晰ナルオヤ之ヲ要スルニ現今政治社會ニ於テ行政司法ノ二權ハ之ヲ代議體ニ關係ナキ所ノモノニ委任スルハ便利ナリトノ道理確定シ既ニ之ヲ實行スルモノト謂フヘシ

是ヨリ一步ヲ進メ代議院ノ組織ニ關スル種々ノ論點ヲ分チ逐次之ヲ講述セン

第一 撰舉權 凡ソ立憲政體ノ眞面目タル代議院ノ因テ以テ組織セラル、所以ノ基礎トナルモノハ則チ撰舉權ナリ而テ此撰舉權ノ基因ニ關スル古來ノ說如何チ按スレハ凡ソ四アリ(一)君主特許說(二)財産標準說(三)智識標準說(四)普通撰舉說是ナリ(一)君主特許說トハ各人民ノ代議士ヲ撰舉スルノ權利ハ其君主カ隨意ニ之ヲ與フルモノナリト云フニ在リ是立憲政治ノ主義未タ十分ニ發達セス人民ノ智識幼稚ナル時ノ說ニシテ千四百年頃行ハレタリ蓋シ當時人民ノ代議士ヲ撰舉シタルハ人民自己ノ利便ニ基クニ非スシテ全ク君主自己ノ便宜ノ爲メ特ニ人民ヲシテ其代議士ヲ撰舉セシメタルモノナリ故ニ其權限ノ廣狹賦與ノ均否ハ一ニ君主ノ隨意タリ從テ今年之ヲ召集シ明年之ヲ召集セサルモ其人民タルモノ敢テ君主ニ迫リ強テ召集ヲ促カス能ハス又召集セラレタル代議士ハ只其所見ヲ述ヘテ之ヲ君主ノ參考ニ供スルニ過キサルナリ彼ノ立憲政體ノ鼻祖タリ源泉タル英國ト雖モ當時ニ在テハ猶ホ然リトス君主若シ米商條例ヲ創定若シハ改正セソフチ企ツルトセソカ米商營業者中ヨリ特ニ代人ヲ召集シ其意見ヲ諮詢シテ創定若シハ改正ノ參考トナシ或ハ宗教ニ關スル法律ヲ創定

若シハ改正セソフチ欲スルカ其宗教ニ關係スル者ノ代人ヲ出サシメ以テ之カ意見ヲ諮詢スルカ如シ又君主其財政ヲ整理スル便宜ノ爲メ特ニ財産家ノ代人ヲ召集シタリ蓋シ社會ノ未タ充分ニ發達セサル時代ニ在テハ古今東西ノ別ナク何レノ邦國ト雖モ其帝室ト政府ノ區畫截然タラスシテ帝室ハ則チ政府タリ政府ハ則チ帝室タルカ如キ有様ナルヲ以テ若シ通常ノ歲入ニシテ帝室ノ費用ヲ支フルニ足ラサルハ更ニ人民ニ向テ要求セサル可ラス即チ御用金若クハ冥加金ヲ出サシムルノ類ナリ是他ナシ帝室ト政府ノ區別ナキ時代ニ在テハ現今ノ如ク公費ニ供スル所ノ國稅チ一般ニ賦課スルノ制度ナケレハナリ夫レ如此御用金冥加金等ヲ出サシムルハ固ト不時ニ強要スルモノニシテ既ニ一定ノ標準アルコトナク都府若クハ村邑ニ特ニ賦課スルニ過キス是ニ於テカ其都邑ノ人民ヨリ特ニ代人ヲ出サシメ以テ其賦課ノ方法等ヲ評議セシメタリ事情既ニ如斯ナルカ故ニ當時ノ人民ハ却テ其撰舉權ヲ有スルヲ以テ一ノ煩累トナシ視奪セラレソフチ望ムモ決シテ今日代議政體ノ下ニ棲息スル人民ノ撰舉權ヲ尊重スルカ如キコト非サルナリ以上述フル所ハ事既ニ往時ニ屬シ今日ノ如キ物理

開顯人智開明ノ世運ニ在テハ業己ニ彼カ如キ狀況ノ存立スルヲハ絶テ之ナシト雖モ猶ホ精細ニ政治社會ノ眞象ヲ通觀スルモハ時ニ或ハ前述ノ意味ヲ含ムモノ之ナシト斷言スル能ハサルナリ

次キニ財産標準説トハ人民所有ノ財産價額ヲ以テ撰舉權ヲ得ルト得サルトノ標準トナシ之カ資格ヲ定ムルノ說ナリ假例ハ地租五圓ヲ納ムル者ハ代議士ヲ撰舉スルヲ得ト定ムルカ如キ是レナリ而テ此說ノ因テ以テ社會ニ顯出シタルハ偶然ニ非スシテ文明進歩ニ應順シタルモノナリ即チ代議政體ノ行ハル、社會ノ進歩ニ伴隨シテ起レリ夫レ人民ノ財産ヲ所有スルノ程度稍ヤ高尙ニ趁キ經濟ノ思想發達スルモハ自ラ其間ニ貧富ノ差ヲ生シ富者ハ益々社會ノ事物ニ關係ヲ有シ識ヲ知ラス之カ上位ヲ占メ社會万般ノヲニ干涉スルノ楷梯ヲ得ルニ至ラン又之ヲ人世ノ實際ニ徵スルモ財ヲ有スルヲ愈ヨ多キモノ亦其權力ヲ得ル愈々大ナルヲハ自明ノ眞象ナリ且ツ社會ノ文明未タ充分ニ發達セサルモハ人ノ智識ヲ有スルト否トニ關セス唯ニ財産ノ多少ニ依テ其權力ノ大小ナルハ是亦火ヲ賭ルヨリモ明カナル事態ナリトス是ニ由テ之ヲ觀レハ人民ノ

參政權ヲ得ルニ當ツテモ富者先ツ之ヲ得テ貧者ノ之ヲ得ル能ハサルハ自然ノ勢ナリ加之一國ノ立法者タルモノ未タ充分ニ人智ノ發達セサル社會ニ於テ之カ法ヲ定ムルニ當リ政治ノ如何ニ由テ直接ニ多少ノ利害ヲ感スルニ足ル所ノ財產ヲ有スル者ヲ先ツ參政權ヲ得セシムルノ制限ヲ設ケルキハ實情ノ如何ヲ顧ミヌ利害ノ因果ヲ慮ラス徒ラニ奇ヲ術ヒ新ヲ弄フ空論者ヲ排除シテ論議着實ニ萬事成功ヲ期スルモノ出ツルヲ得而シテ立法者之ニ安シ人民之ヲ樂ムノ結果ヲ見ルニ庶幾カラシカ是十四世紀以來今日ニ至ル迄綿々トシテ實際政治社會ニ行ハル、ノ主義ナリトス

## 第七回

前回ニ於テ撰舉權ノ基礎ニ關スル重要ナル說ノ第二迄ヲ講述シタレム今日ハ其三ヨリ之ヲ始メシ

第三智識標準說 人ノ智識ヲ以テ撰舉權ヲ得ル基礎トナスノ說ハ之ヲ彼ノ君主特許又ハ財產標準ノ二說ニ比較スレハ稍々高尚ナル思想ニ屬スルモノト謂

ハナル可ラス蓋シ世ノ文明益々開發シ人ノ智識其度ヲ進ムルニ從ヒ無形の  
道理社會ヲ支配スルニ至ルハ自然ノ數ナリ此故ニ智識標準說ノ如キモ遂ニハ  
萬國普通ニ人民ノ撰舉權ヲ有スル基礎トナルハ殆ント疑ナキナリ乃チ此說ノ  
行ハル、ト否トニ由テ其國人民ノ智識如何ヲト知スヘキナリ然ルニ現時歐米  
各國ノ現狀ヲ觀察スルニ全然此說ヲ以テ撰舉權ノ基礎トナス者稀ナリト云フ  
ヘシ但何國ニテモ一樣ニ智識標準主義ヲ執ルハ瘋癲白痴者及ヒ婦女子ヲシテ  
撰舉權ヲ有セシメサル事是ナリ此輩ハ智識不充分ナルノ故ヲ以テ撰舉權ヲ與  
ヘス是レ現今萬國俱ニ實行スル所ナリ然レモ其特ニ婦女子ニ關シテハ目下稍  
々政治上ノ一問題トナラントスルノ傾キアリ而テ其唱道スル所ノ要點ハ今日  
婦女子ニ關スル教育法其宜キヲ得テ遍ク行ハレ其智識既ニ發達シ決シテ舊態  
ヲ存セス然ルニ敢テ撰舉權ヲ與ヘサルハ正理ニ非ラスト云フニ在リト雖モ實  
際此說ヲ採用シテ婦女子ニ撰舉權ヲ與ヘタル例ハ未タ少ナシ元來婦女子ニ限  
リ決シテ之ヲ許ス能ハストノ道理ナキカ故ニ彼ノ瘋癲白痴者ト共ニ永ク撰舉  
權ヲ有スル能ハサルニ非ラスシテ將來必ラス行ハル、事疑ナシ現時ノ實況己

ニ如此ナルカ故ニ其智識標準說ハ決シテ單行スル能ハスト雖モ第二ノ財  
産標準說ト相混淆シテ行ハレリ凡ソ人多少ノ財産ヲ有スルニ非ンハ完全ノ教  
育ヲ受クル能ハス完全ノ教育ヲ受ケサレハ即チ有用ノ智識ヲ得ル能ハス故ニ  
其財産ヲ以テ撰舉權ヲ有セシムルノ標準トナスハ畢竟智識ヲ以テ標準トナス  
モノナリトノ説目下頗ル勢力アリト雖モ社會ノ實況ヲ通觀スルキハ未タ必ス  
シモ然ラスシテ富者或ハ庸愚ニシテ用ユルナキアリ貧者ニシテ猶能ク賢才有  
爲ノ士アリ故ニ財産標準說ハ全ク智識標準說ト其歸宿スル處チ一ニスト云フ  
能ハサルナリ之ヲ要スルニ現時ノ實況ヲ存スル社會ニアリテハ輒スク財産標  
準說ヲ排去シテ純粹ナル智識標準說ヲ單獨ニ行フ能ハス偏ニ二者ヲ參酌シテ  
其宜シキヲ取用セノミ

第四) 普通撰舉說 此說ハ彼ノ十八世紀ノ末期ニ當リテ佛國ノ碩儒ルソー、氏  
等唱道シタル天賦人權說ニ基因シタルモノナリ今其說ノ要點ヲ畧言センニ凡  
ソ人ハ己ノ承諾ニヨラスシテ妄ニ他人ノ檢束ヲ受クルモノニアラス法ノ制裁  
ヲ受クルハ嘗テ自己ノ承諾ヲ與ヘタルニヨル即チ人ハ自主自由ノモノナリ妄

リニ政府ノ檢束ヲ受クルモノニアラサルナリ人己ニ此固有ノ權利ヲ有スル以上ハ一國ノ政權ニ參與シテ一國政府ノ人民ヲ檢束スル事ニ承諾ヲ與フルハ元其所ナリ夫レ然リ人民ノ參政權ヲ有スヘキ所以ノ理ハ則チ其固有スル所ノ自主自由ノ權利ヨリ流出スルモノナリ理已ニ如此豈人爲ノ法ヲ以テ妄リニ其參政權ヲ限ル可ンヤ貧富貴賤ノ別ナク宜シク平等ニ之ヲ有シ之ヲ行フヘシ決シテ之レカ區別ヲ設ケ制限ヲ立ツヘカラサルナリト此說ノ妄誕ナルコト今日已ニ明カナル處ナリ元來身軀安固ノ權若クハ財產所有ノ權等ノ如キハ之ヲ固有スト云フモ敢テ不可ナシト雖モ參政權ヲ以テ直ニ此等ト同一ニ論スルハ大ニ不可ナリ猶ホ之等ノ點ニ付テハ他日政治學ニ於テ詳述スヘシ夫レ天賦人權ヲ以テ普通撰舉權ノ根據トナス可ラサルハ彼カ如ク瞭然タリト雖トモ此ヲ以テ直チニ普通撰舉說ヲ不可ナリトナス可ラス然リ而シテ普通撰舉說ノ行ハル、ト否ラサルトハ一ニ社會ノ進歩人智ノ發達如何ニ依ルモノトス即チ社會非常ニ進歩シ人智非常ニ發達シテ智識標準說ノ盛ニ行ハル、實況ナルキハ普通撰舉ヲ行フモ亦可ナリ之ニ反シテ其文明ノ程度低ク財產ヲ以テ標準ト爲サ、ル

可ラサルノ事情存スル社會ニ在リテハ未タ容易ニ普通撰舉ヲ行フ能ハサルナリ然レモ一國ノ主法者タル者法ヲ定ムルニ望フテハ勉メテ善良ナル代議士ヲ得併テ一般人民ノ撰舉ニ與リ知ルヲ得ヘキコトヲ眼目トナサ、ルヘカラス濫リニ撰舉權ノミヲ擴張スルト雖モ敢テ代議政體ノ本義ニ協合スルニ非ス唯タ始終注意スヘキハ善良ナル代議士ヲ得ルノ方法ニシテ兼テ又一般人民ヲシテ普ク撰舉ニ與リ知ラシムルニアルノミ現時塊國ニ於テ復撰法ヲ採用スルカ如キモ全ク此趣旨ヲ達セシムルカ爲メナランカ抑モ復撰法ナルモノハ最初人民ニ於テ先ツ撰舉委員ナルモノヲ撰任シ而テ其撰舉委員ヲ以テ代議士ヲ撰舉セシムルニアリ如此スルキハ其多數人民ハ絶テ撰舉ニ與ラスト云チ得ス而テ代議士ヲ直撰スルノ撰舉委員ハ衆民ノ推ス所トナリタルモノナレハ多少ノ智識ヲ有スルハ勿論ナルヲ以テ甚シキ失當ノ撰舉ヲナサ、ルハ必然ナリ是一舉而得ノ良法ト謂フヘシ塊國ノ復撰法ヲ採用シタルモ畢竟此主義此理ニ基キタルニ外ナラスト信ス以上撰舉權ノ基礎トナル四箇ノ要說ヲ畧言シタレハ是ヨリ更ニ歐米各國ノ政治上實際ニ此等ノ主義ヲ行フ有様如何ヲ觀察セシムルニ彼ノ第四說タ

ル普通撰舉ノ行ハル、ハ佛蘭西ナリ即チ佛國ノ男子ニシテ丁年以上ナル者ハ何人ト雖モ代議士ヲ撰舉スルヲ得ヘキモノトセリ茲ニ特ニ一言ノ注意スヘキハ普通ト云フト是ナリ其文字上ヨリ論スルモハ男女ノ別ナク一般ナルカ如シト雖モ現時稱スル所ノ普通ハ決シテ然ラス男子一般ヲ指スモノナリ是敢テ他ノ理由アルニ非スシテ習慣上ヨリ然ルノミ故ニ今一層社會文明ノ進歩ヲ來シ女子ト雖モ男子ト同等ノ位置ニ立ツニ至レハ或ハ其文字ノ如ク男女一般ヲ指シテ普通ト稱スルニ至ルヤモ未タ知ル可ラサルナリ尙ホ一言ヲ加ヘサル可ラサルモノアリ即チ前ニ己ニ述ヘタルカ如ク智識標準說ハ社會ノ進歩人智ノ開發其程度ヲ進ムルニ至レハ行ハル、ノ善說ニシテ已ニ普通撰舉ノ行ハル、社會ニ至ルモ猶ホ智識標準說ノ主義行ハル、モノナリ即チ夫ノ丁年以上ト限ルカ如キ或ハ瘋癲白痴ノモノニ撰舉權ヲ有セシメサルカ如キ是ナリ而テ進歩ノ程度低キ社會ニ在テハ智識標準ノ主義財產標準ノ主義ト相並ヒテ行ハルト雖モ既ニ普通撰舉ノ行ハル、社會ニ在テハ則チ獨立シテ行ハル、モノナリトス次ニ財產標準主義ト智識標準主義ト并ヒ行ハル、ハ伊太利ナリ即チ二十五歲

以上ノ伊太利男子ニシテ能ク讀書シ四十「リアル」ノ國稅ヲ納ムルモノハ代議士ヲ撰舉スルノ權ヲ有ストセリ是財產主義ト智識主義ト相合シテ行ハル、モノニシテ其二十五歲ト云フハ智識ヲ標準トシタルモノナリ何トナレハ人二十五歲ニ至ラサレハ其智識充分ナラスト云フニアレハナリ而テ其四十「リアル」ノ國稅ヲ納ムル云々ハ即チ財產ヲ標準トシタルモノナリ然レモ其主義ハ四十「リアル」ヲ納ムルニヨリテ撰舉權ヲ得ルト云フニアラスシテ四十「リアル」ヲ納ムルモノハ相當ノ智識アリト云フノ点ヨリ來ルモノナリ又荷蘭國ハ二十「フロラン」ノ直稅ヲ納ムル丁年男子ハ撰舉權ヲ有ストセリ又英國ノ如キハ其大體ヨリ之ヲ云フモハ殆ント財產標準主義ヲ執ルト云フモ可ナリ然レモ他ノ點ニ於テハ單ニ純粹ナル智識標準主義ヲ用ユルモノアリ抑モ英國ノ撰舉區ハ之ヲ郡都市大學ノ三様ニ分テリ而テ郡及都市ノ撰舉ハ一切其財產ヲ標準トスト雖モ其大學ニ至リテハ全ク智識ヲ標準トナスモノト謂ハサルヘカラス即チ丁年男子及ヒ諸大學ノ評議會員ハ總テ撰舉權ヲ有スト定メタリ是單純ナル智識ヲ標準トシタルモノナリ又彼ノ瘋癲白痴及婦女子ノ如ク其智識充分ナラサルニアラスト



雖凡各國俱ニ選舉權ヲ有セシメサルモノアリ即チ貴族及選舉事務ニ關スル吏員警察官重罪以上ニ所罰セラレ未タ刑期中ニアルモノ是ナリ而テ此等ハ前述ノ理由アルニ非ラスシテ概テ一國ノ政界上ヨリシテ特ニ有セシメサルニ過キス

被選舉權即チ代議士ニ撰任セラル、モノ、權利ニ關スル定限ハ種々ニシテ各國其軌ヲ同フセスト雖凡其主要トスル所ハ勉メテ善良ナル代議士ヲ得ルノ方法ニアリトス而テ其被選舉權ヲ有セシムルニ就テモ選舉權ニ同シシ智識標準主義財產標準主義ノ二者俱ニ行ハル、ナリ

### 第八回

今日ハ前回ニ繼キ代議士ニ關スルヲ詳述セシ

代議士ニ關スルヲハ概テ之ヲ(一)代議士ノ資格(二)選舉區ノ(三)選舉方法(四)代議士ト選舉者ノ關係ノ四項ニ分テ順次講述セシ

(一)代議士ノ要スヘキ資格之ヲ換言スレハ即チ代議士トナリ得ヘキモノニ對ス

ル制限ノ、ハ前回ニ於テ畧述シタリト信スレ凡猶ホ聊カ補足セシニ前既ニ選舉者ニ對スル制限ヲ述ヘタルト如ク代議士ニ對スル制限ヲ設クルニハ勉メテ才能經驗ニ富ミタル人士ノ代議士タルヲ得ヘキヲ主旨トセサル可ラス即チ代議士タランモノハ先ツ其生計ニ餘裕ナカル可ラス間暇ナカル可ラス如何ニ才能經驗拔群無比ノ人士ト雖モ其生計ヲ營ムノ業務ニ奔走セサルヲ得サル凡ハ一國ノ議政ニ與カリ知ルノ餘暇ナキヲ以テナリ次ニ廉潔ノ節操ヲ持スルモノナラサル可ラス若シ代議士ニシテ之ナクハ假設ヒ拔群ノ才能アリト雖モ一旦賄賂ノ好餌ニ遭テ忽チ動キ富貴宴安ヲ見テ輒チ淫溺スルカ如キハ卒ヒニ一國ノ大政ヲ評議スルニ當リテ侃々ノ言ヲ吐キ中庸ノ議ヲ執ル能ハサルナリ代議士ノ資格ヲ定ムルニハ只是等ノ企望ヲ達スルノ方法ヲ取ラサル可ラス元來代議士ノ資格ヲ制限スルニハ據ルヘキノ標準ナク又一定ノ原則ト稱スヘキモノナシ然レ凡現今歐米各國ニ於テハ大抵年齡地位資産ヲ標準トスルヲ通例トセリ凡ソ人類社會ノ實況ヲ通觀スルニ稜萃非凡ノ士ハ姑ク之ヲ擱キ一般ノ人士ニ在テハ其年齡幼弱ナレハ之カ才能未タ充全ナラス從テ其經驗モ亦未

夕殷富ナラサルナリ故ニ代議士タルモノハ必ス相當ノ年齢ナラサル可ラサル  
 ナリ次ニ地位モ亦相應ナルヲ要ス何トナレハ居常極メテ卑賤ノ職業ヲ營ムモ  
 ノハ多少ノ才能アルモ其廉潔ノ節操ニ至テハ殆ント保スル能ハサルモノナリ  
 又人生計ノ餘裕ヲ與フル資産ナケレハ業務ニ逐ハレテ議政ニ與カルノ間暇ナ  
 キハ前述スルカ如シ然レモ一ノ理論言フキモノニシテ實際ハ未タ其行ハル  
 ヲ必スヘキニ非サルナリ今此說チ一ノ理論トシテ見ルキハ實ニ一點ノ欠失  
 ナシト雖モ如何セン現ニ是等ノ諸点ヲ標準トシテ法律上嚴然其制限ヲ設ルモ  
 其精神貫徹セス時ニ或ハ其網穴ヲ漏免シ而モ容易ナルヲ決シテ稀有ニ非サル  
 ナリ果シテ然ラハ之ヲ匡正スルノ策如何他ナシ之ヲ社會人民ノ智識及ヒ政治  
 上ノ道德ニ懇ヘサル可ラス社會人民ノ智識道德愈々高尚ナレハ斗管充員ノ小  
 人愈々蟄息シテ自ラ才能廉潔ノ人士撰出セラル、ニ至ルヤ疑ナシ是一國政治  
 上ノ事ハ獨リ法律ノ力ノミニ依頼スル能ハスト云フ所以ナリ政治ヲ談論スル  
 モノ豈戒慎セサル可ケンヤ然レモ總テ標準若クハ原則ト稱スルモノハ法ヲ設  
 シルニ當テ其方針ヲ示スモノナレハ決シテ忽ニス可ラス此故ニ代議士ニ關ス

ル制限ノ法ヲ設クルニハ勉メテ前述ノ標準ニ近ツキ據ランヲ期セサル可ラ  
 サルナリ

(二)撰舉區ニ付テハ深ク穿鑿論定スヘキヲナシ然レモ其撰舉區畫ヲ定ムルニ標  
 準トスヘキ者凡ソニアリ(一)勉メテ善良ナル代議士ヲ得ルノ區畫ヲ設クルニ  
 注意セサル可ラス(二)撰舉者各自ニ於テ其代議士トナルヘキ人士ヲ熟知スル  
 肝要ナリ如何ニ其代議士ハ善良ナリト雖モ之ヲ撰舉スルモノ其人ト爲リ如何  
 ナ知ラサルカ如キハ決シテ代議政體ノ本義ニ非ス且其代議士自ラニ於テモ已  
 レテ撰舉スル人民ニ知ラレサル有様ナルモハ是亦決シテ其各撰舉人民ノ意思  
 ナ代表スル能ハサルナリ是ニ由テ考フレハ夫ノ政府ノ指命特任シタルモノ、  
 如キハ假令其才智經驗ハ一世ヲ蓋フニ足ルト雖モ決シテ人民ノ代表者タル能  
 ハサルナリ夫レ人日常交通往來ニ依ルカ若クハ演說面談ニ依テ始メテ其意思  
 ナ顯示シ又ハ之ヲ熟知スルヲ得ヘシト雖モ未タ曾テ交通往來ヲナサス又一次  
 ノ談ヲ交ヘス一握ノ好モナキ人ニ在テハ如何ニ賢明ナリモ焉ソ能ク其意思  
 ナ代表スルヲ得ヘケンヤ是其撰舉者タルモノハ已レノ撰舉スヘキ代議士其人

ヲ熟知シ信任スルモノナラサル可ラサル所以ナリ各撰舉者ノ意思ヲ代表スル  
 ハ代議士ノ面目ナラシカ宜シク撰舉區ヲ畫定セサル可ラス撰舉區畫ナキハ  
 代表ノ主義ハ到底行ハル、一能ハサルナリ蓋シ一國ノ立法部ニ於テ評定議決  
 スヘキ事柄ハ總テ國家全体ノ公益如何ヲ目的トセサル可ラス此目的ヲ達セシ  
 ニハ須ラシ其利害ヲ異別ニスル所ノ各地方人民ノ實況ヲ精細ニ討尋セサル可  
 ラサルナリ唯漠然トシテ如此定メハ則チ人民ノ便宜ナラン如彼爲サハ公益ナ  
 ラントノ忘想說ハ今日ノ政治社會ニ容レサル所ナリ此故ニ各地方ニ在テ種々  
 其利害ヲ異ニスル人民ノ意思ヲ代表スルニ足ル所ノ方法タル撰舉區ハ必ス之  
 ヲ畫定セサル可ラス然リ而シテ其撰舉區ヲ畫定スル所以ノ理由ハ既ニ彼カ如  
 ナルヲ以テ之カ區畫ヲナスニハ勉メテ其利害ヲ同一ニスルモノヲ以テ一區ト  
 ナスヘキナリ假令ハ甲區ト乙區ト其利害ヲ異ニスルヨリシテ各々其代議士ヲ  
 撰出シ以テ各別ノ意思ヲ表示シシメ互ニ參酌審查安排折衷シ然ル後初メテ善  
 美完全ノ法ヲ制定スルヲ得ヘシ是ニ於テカ正ニ知ル代議士ノ職分タル一ハ其  
 撰舉區ノ代表者トナリテ撰舉區民ノ意思ヲ代表シ一ハ全國一般ノ代表者トナ

リテ其公益ヲ表議スヘキモノタルヲ是等ノ諸点モ亦以テ撰舉區畫ヲ定ムル  
 ノ標準トナスヘキナリ(三)撰舉方法ニ直撰法複撰法ノ二様アリ直撰法トハ各撰  
 舉者直チニ其代議士ヲ撰舉スルノ方法ニシテ複撰法トハ各撰舉者先ツ己レニ  
 代テ代議士ヲ撰定スヘキ所ノ撰舉委員ナルモノヲ撰舉シ然ル後チ其撰舉委員  
 ナシテ代議士ヲ撰舉セシムル方法ナリ而シテ其複撰法ノ場合ニ依テ必要ナル  
 一ハ嘗テ述ヘタリシカ特ニ行政長官即チ共和政體ニ於ケル大統領ヲ撰舉スル  
 ノ時ニ於テ最モ必用ナル適用ヲ見ルヘシ如何トナレバ共和政體ニ於ケル大統  
 領ヲ撰舉スルニ當テ全國ノ人民一時ニ起テ之カ撰舉ヲナスト假想セヨ果シテ  
 其續紛擾々タルト如何ソヤ若シ人其然ラサルヲ疑ハ、宜シク去テ北米合衆國  
 ニ於ケル大統領撰舉ノ實況ヲ一見セヨ現ニ複撰法ヲ用ユルモ猶ホ彼カ如ク紛  
 雜ヲ免レサルニ非スヤ故ニ假令今ヨリ數層人民ノ智識上進スルモ彼ノ行政長  
 官ヲ撰舉スルニハ常ニ複撰法ノ喫緊ナルヲ忘ル、一能ハサルナリ然レモ若シ  
 人民一般ノ智識大ニ發達シ其政治上ニ於ケル道德高尚ニ趁ク、一アランカ唯其  
 立法議會ノ代議士ヲ撰舉スルニ限リ直撰法ヲ用ユルモ固ヨリ不可ナカルヘシ

ト雖正獨リ如何セシ現時ノ狀況ノ如ク人民ノ智識ニ高下ノ程度甚シキ場合ニ在テハ二者ノ間大ニ懸隔スルヲ以テ輕々ニ直撰法ヲ用ユルキハ容易ニ其多數ノ下流人民ハ小數ナル上等社會ニ蹂躪壓抑セラレ、ヤ誠ニ火ヲ賭ルヨリモ炳ナリ勢此ニ至レハ自然政治上ノ不平ヲ釀成スルノ惡果ヲ來ス、故迹ニ徴シテ疑ナキ所ナリ豈ニ恐レテ懼レサル可ケンヤ

(三)撰舉ノ手段タル投票ニ記名投票ト匿名投票トノ二法アリ純理ヨリ之カ觀察ヲ下スルハ記名投票ハ正則ニシテ匿名投票ハ變則ナリ又タ其實際ニ就テ考察スルキハ匿名投票ノ却テ記名投票ニ勝ル、萬々ナル場合ナキニ非サレハ必シモ正則ハ公正ニシテ變則ハ邪惡ナリト斷定ス可ラサルナリ然レ正現時匿名投票ノ行ハル、所以テ尋繹スルキハ全ク政治道德ノ低キニ基因スルモノナレハ速ニ之ヲ全廢スルニ至ラントナ期セサル可ラス然リ而シテ記名投票ハ何ヲ以テ正則ナルヤト云フニ抑モ投票ナルモノハ或點ヨリ之ヲ見ルキハ殆ント一己人民ノ國家ニ對スル義務ナリ國家全般ニ關スル、獨リ投票ノミナラス總テ之ヲナス公明正大ナラサル可ラス今日夫ノ裁判ヲ公行スルカ如キモ誠ニ其公

明正大ヲ表示スル爲メナリ是ニ由テ考フルキハ毫モ顧慮忌憚スル、ナキ記名投票ハ固ヨリ公明正大ニシテ最モ其行ハレ、ト希望セサル可ラスト雖モ若シ其社會ニシテ多數ノ投票者其有力者ニ壓制セラル、ノ傾アルキハ匿名投票ノ法必要ナリトス蓋シ此方法ニ因テ始メテ多數ノ投票者其投票ヲナスノ自由ヲ得ヘキナリ茲ニ一投票者アリ某人ノ才能廉潔ナルヲ熟知スルモ若シ之ヲ投票撰舉セハ他ノ爲メニ腕力ノ暴行ヲ受クルノ恐レアルカ若シハ地主ト借地人トノ關係ヨリシテ自然ニ壓制セラル、ノ危懼ヲ抱クノ事情多キ社會ニハ宜シク匿名投票ノ法ヲ用、以テ投票者ノ自由ヲ保護セサル可ラサルナリ然レ正一利ノ存スル所一害必ス之ニ伏隨スルハ人世ノ免ル能ハサル通理ニシテ夫ノ匿名投票モ亦弊害ナキニ非サルナリ即チ其匿名投票ハ投票者ノ誰タルヲ辨別スル能ハサルカ故ニ輒モスレハ賄賂ヲ以テ之ヲ左右スル、ト容易ナリ如何トナレハ匿名投票ニ在テハ某人ノ某人ヲ撰舉シタリト云フ、ト分明ナラサルカ爲メ之ヲ苟モシ妄リニスルノ傾キアレハナリ是ヲ以テ若シ匿名投票法ヲ行ハ、其之ニ關スル法律ハ極メテ嚴酷ナラサル可ラス然ラス、ハ遂ニ其利益ヲモ併セテ

之ヲ埋没スルニ至ルヤモ未ダ知ル可ラサルナリ  
 (四)代議士ト撰擧者ノ關係ニ就テ第一ニ生スル問題ハ代議士タルモノ其撰擧者ノ爲メニ掣肘セラル、ヤ否ト云フノ點是ナリ凡ソ代議士ナルモノハ單ニ撰擧者ノ意思ヲ代表スルノミニ止テ自己ノ意見ヲ吐露スル能ハサルモノナリヤト云フニ或國ニ於テハ全ク代議士ハ撰擧者ノ代理人ナリトナセリ果シテ然ラハ代議士ナルモノハ撰擧者ノ意思ヲ代表スルノミニシテ決シテ自己ノ意見ヲ述フル能ハサルモノナリ夫レ然リ之レヲ或點ヨリ觀察スルトキハ時ニ或ハ如此事情ナキニ非スト雖モ代議士ノ真正ナル本分ハ決シテ如此狹隘窮屈ノモノニ非サルナリ夫レ撰擧者ノ代議士ヲ撰擧スルヤ其已レ之ヲ能クスル所ノヲ委任執行スシムルニ非スシテ曾テ自己ノナシ能ハサル所ヲナサシムルモノナリ故ニ代議士タルモノハ苟モ以テ公益ト信シ正議ト覺リ俯仰愧怍スル所ナク内ニ省ミテ疚シカラスンハ假令嘗テ其撰擧者ニ約スル所ト違フモ敢テ躊躇顧慮スルコトナク毅然トシテ自己ノ意見ヲ吐キ斷乎トシテ其說ヲ執守スヘキモノナリ然レモ代議政體ノ下ニ棲息スルモノハ亦彼ノ公議輿論ニ忽然タル可ラサル

ナリ有名ナル政治家某氏言ヘルコトアリ曰メ公議輿論ハ代議士ニ命スル法律ニ非スト雖モ重要ナル參考トナルモノナリト故ニ其之ヲ取ルト否トハ固ト代議士ノ意見ニ在リト雖モ亦事ヲ議スルニ當テハ須ラク取テ參考トナサ、ル可ラス前ニモ論述シタルカ如ク代議士タルモノハ番ニ撰擧區ノ代表者タルノミニ非スシテ一層重大ナル國家全体ノ代表者タルモノナレハ其撰擧區ノ輿論ヲ顧省スヘキハ固ヨリ論ナシト雖モ亦國家全体ノ利害ヲモ常ニ通觀セサル可ラサルナリ以上論述スル所是ニシテ誤ラスンハ則チ其撰擧人ハ其全權ヲ以テ之ヲ代議士ニ委任シタルモノナレハ苟モ其代議士就任中ハ決シテ掣肘ス可ラサルヤ明カナリ然レモ人類ノ不完全ナル動物タルヨリシテ他ノ掣肘羈絆ナキハ忽チ横道ニ奔馳シ得有ノ權利ヲ妄用スルヲ免レサルモノナリ是ニ於テカ新陳代謝ノ法ヲ設ケ一人ヲシテ永ク暖席ヲ抱持セシメサルニ至ル即チ代議士就職年限是ナリ

第九回

前二回ニ於テ代議士院ノ組織ニ關スル要點ヲ講述シ終レリ然レモ今日歐米各國ノ立法部ハ概ネ二局議院ヨリ成立スルヲ以テ唯ニ代議院ノ一ノミヲ講スルモ未ダ以テ其立法部全体ノ組織ヲ盡シタリト云フ可ラス故ニ其代議院ト共ニ立部法ヲ成立セシムル所ノ上院即チ貴族制度ノ設ケアル國ニ於ケル貴族院若クハ貴族制度ナキ國ニ於ケル元老院ノ組織ヲモ更ニ講究セサル可ラサルナリ依テ今此上院ノ組織ヲ講究スル前順序極メテ好機ナルヲ以テ夫ノ二局議院制度ノ利害得失ヲ聊カ畧言センニ此說ハ今日政治上ニ於テ殆ント陳腐ニ屬シ爰ニ深ク説クコトヲ要セサルカ故ニ余ハ唯ニ此ニ關スル各政治論者ノ主唱シタル重要ノ論據ヲ摘示スルニ止メノ二局議院ノ果シテ善良制度ナルヤ否ヤヲ論斷スルニハ宜シク之ヲ二ニ區別セサル可ラス即チ一ハ廣ク政治上一般ヨリシテ果シテ二局議院ノ可ナルヤ否ヲ觀察スルコトニハ或ル格段ナル社會ニ於テ二局議院制度ノ適當ナルヤ否ヲ論斷スルコト是ナリ此二者ヲ區別セズシテ妄リニ其得失利害ヲ論スルモ徒勞ニ屬スルコトアラフ扱廣ク政治上ヨリシテ二局議院ノ可否ヲ論シ而モ世人ノ注意スル所トナリタルモノハ英儒ミル氏ナリ其說ニ曰

ク凡ソ如何ナル政體ニ論ナク又如何ナル社會如何ナル人トチ問ハス其權力ヲ一所ニ集メ之ヲ專有スルキハ假令其意ナシト雖モ知ラス識ラスノ中自ラ其權力ヲ妄用スルニ至ルハ人世ニ免ル能ハサルノ通弊ナリ而シテ一國ノ大權ヲ行フ所ノ國會ト雖モ均シク此弊害ヲ脱却スル能ハス故ニ若シ一國ノ立法部ニシテ一個單獨ノ議會ヨリ成立スルキハ其權力ヲ妄用濫行スルヤ明カナリ其妄用濫行ヲ抑制セントスルニハ須ラク之ニ對抗スルノ議院ヲ設ケサルヘカラス之ニ對抗スルノ議院ヲ設ケルキハ他ノ忘用濫行ヲ全抑スル能ハサルモ其弊害ヲ減少スルニ至ラン且ツ假令妄用濫行ノ弊害ナシトスルモ若シ其議會一個ナルキハ毫モ顧省スヘキ念慮ヲ要セサルカ故ニ時ニ粗漏不精ノ法案ヲ議決スルノ憂アリ然ルニ若シ一法案ヲ決スルニ一議院ノ議決ヲナシ更ニ又同一ノ方法ヲ以テ同法按テ議決スルノ議院アルキハ互ニ謹慎戒警シ相厲精スルノ結果ヲ呈シ且ツ其一個議院ニ於テ議決ヨリハ多少餘計ノ時間ヲ要スルヲ以テ遂ニ一時ノ事情ニ激昂シ粗漏ニ流ル、ノ憂ヲ矯正スルニ足ルヘシト又之ニ反對スル各論者ノ說タル二局議院ヲ設ケルキハ法律制定ニ無用ノ手續ト時間ヲ費シ爲

メニ法律制定ヲシテ遅緩ナシムルト云フヲ反駁シテ曰ク二局議院ヲ設クル  
 其法律制定ヲシテ遅緩ナラシムルノ弊害アルハ誠ニ然リ然レモ夫ノ粗漏  
 ノ法律ヲ制定シテ其毒ヲ社會ニ流布スルニ孰レシヤト此ミル氏ノ反駁說ハ單  
 ニ利害ヲ比較シタル論斷ナレハ唯各人ノ論斷如何ニアルモノトス即チ遅緩ハ  
 粗漏ニ勝ルトナサハ直チニミル氏ノ說ヲ取ラノノミ然レモ此等ノ論點ハ其之  
 チ適用セントスル社會ノ實況人情如何ニ依テ決セサルヘカラス英國ノ有名ナ  
 ル法律家エモス氏ノ說ニ曰ク二局議院ヲ設クルハ決シテ要ナキモノナリ一局  
 議院ニテ足レリ如何トナレハ人民ノ智識大ニ發達シタル社會ニ在テハ其代議  
 士ナルモノ必ス學識經驗ニ富ムヤ疑ナシ又議會ハ完全ナル代議士ヲ以テ組織  
 セラル、ヤ明カナリ故ニ彼ノ所謂粗漏ノ法按テ議決スルカ如キ憂アルナシ  
 然ルニ猶ホ之ヲ憂ルハ殆ト杞憂ニ過キサルナリ且ツ夫レ人民ノ智識經驗彼カ  
 如クナラスト雖モ現時各國ノ議院ニ於ケル議事細則ノ實況ヲ通覽スルニ一法  
 案ヲ議決スルニ許多ノ順序ヲ履ミ手續ヲ盡サ、ルヘカラス如斯ナルモ尙ホ以  
 テ粗漏ニ失スルノ憂アリトナスヤト前ノ反對說ハ粗漏ノ弊害ヲ知り單ニ制定

ノ遅緩ヲ以テ反駁ヲ試ルニ過キサリシト雖モエモス氏ノ說ハ其根幹ヨリ反對  
 シテ一局議院制度ノ可ナルヲ主張スルモノナリ余ヲ以テ之ヲ見ルニ一般ノ政  
 治論トシテハ固ヨリエモス氏ノ說可ナリト雖モ或格段ナル社會ニ向テ特ニ之  
 チ適用スルニ當テハ遮カニ之ニ依ルヲ得サルヘシ一般ノ政治論ハ姑ク之ヲ措  
 キ是ヨリ更ニ現時各國ノ概ネ二局議院ノ制度ヲ用フル所以ノ理由ヲ觀察セン  
 トス抑モ現時歐米各國ノ概ネ二局議院ヲ設クル所以ヲ精察スルキハ必ス種々  
 ノ事情許多ノ理由在テ存スルナラント雖モ其最モ重ナル原因ハ一ニ各國ノ先  
 例ヲ因襲シタルニ外ナラサルナリ而シテ各國ノ由テ以テ其先例ヲ因襲スルニ  
 至リタル所以ハ多ク彼ノ十八世紀ノ末期ニ於テ北米合衆國ノ獨立スルニ當リ  
 其建國法ヲ制定スルニ與テ力アリシ有名ナルハミルトン氏等ノ說ニ基因シタ  
 ルモノナリ今ハミルトン氏ノ二局議院ヲ必要トスル說ヲ見ルニ其理由凡ソ八  
 アリ(一)ハミル氏ノ論ト畧ホ同一ニシテ總テ君主專政ト君主政トニ論ナシ一國  
 政治ノ大權ヲ總覽スルモノハ輒スレハ人民ノ利益ヲ顧ミスシテ自己ノ私見ヲ  
 擅行スルノ虞アリ故ニ多少其組織ヲ異ニシタル二議院ヲ設ケ互ニ相ヒ牽制セ

シテサルヘカラスト然レモ茲ニ特ニ注意スヘキハ其組織ヲ異ニスルト云フコ  
 是ナリ何トナレハ其組織ノ相ヒ異ナルコト非常ニ甚クシテ全ク性質ヲ別ニス  
 ルニ至レハ則チ互ニ軋轢シテ遂ニ一國ノ立法權ヲシテ薄弱ナラシムルノ結果  
 チ生スルノ不幸ヲ見ルヘシ豈ニ戒慎セサルヘケンヤ(二)立法議會ニシテ一個單  
 獨ナルキハ法案ヲ議決スルニ當テ容易ニ過激粗暴ニ馳騁スルノ憂アリ故ニ之  
 チ抑制スルモノナカルヘカラスト(三)代議院ノ議員ハ概ネ普通ノ智識ヲ有スルニ  
 過キス所謂經倫ノ智識ヲ有スルモノ、如キハ厯々二三ニ過キサルナリ凡ソ善  
 政ハ人民ノ幸福ヲ増進スルヲ以テ政治ノ目的トスルニ在リ而ノ何ノ時代何ノ  
 政体ニ論ナク總テ此目的ヲ固執セサルモノナシト雖モ其目的ヲ達スル所ノ術  
 策ヲ誤ルコト往々之アリ此故ニ代議院ノ議員ニ勝ル所ノ高尚有識ナルモノヲ以  
 テ上院ヲ組織セサルヘカラスト現今米國ハ此主義ニ則トリ上院ヲ組織セリ其  
 所以ハ各州人民ノ各自ニ優リタル州立法會ノ議員ヲ撰任シ其州立法會議員ヲ  
 ノ更ニ上院議員ヲ撰舉セシムルヲ以テナリ(四)政治ノ方向ハ實ニ終始一定ナル  
 チ要セルモノニシテ屢々變更スルハ忌ムヘキノ至ナリ之ニ反シテ代議院ノ議

員ハ屢々代謝スルヲ要ス屢々代謝セサレハ代表ノ旨意行ハレス此旨意ヲ貫徹  
 スレハ則チ其人ノ交代スル毎ニ政治ノ方向變セサルヲ得サルナリ代表ノ旨意  
 チ實行セシメンカ政治ノ方向變セサルヲ得ス政治ノ方向ヲ變更セサランカ代  
 表ノ旨意遂ニ行ハレス此故ニ代議院ノ議員ヨリハ在職ノ期永キモノヲ設ケ以  
 テ政治ノ方向頻々變更スルノ虞ヲ豫防セサルヘカラストナリ(五)一國ノ体面ヲ  
 維持シ外國ノ信任尊敬ヲ得ンニハ多少ノ位地ヲ有シ名望ヲ繫クル所ノモノ即  
 チ社會ノ上流者ヲ以テ組織スル所ノ上院ノ設ケナカルヘカラスト(六)代議院ノ議  
 員ハ其性質上ヨリシテ就任ノ期短カラサルヲ得ス就任ノ期短キキハ其施設ス  
 ル所ノコトニ就テ責任ヲ感スル薄キハ自然ノ勢ナリ從テ粗漏ニ失シ私利ヲ計ル  
 ノ虞アリ且ツ理論ハ姑ク之ヲ措キ其實際ヨリ云フキハ撰舉者タル人民ニ在テ  
 モ就任ノ短キ代議士ヲシテ百年ノ大計ヲナス責ヲ負ハントテ望ム能ハサルナ  
 リ夫レ人世万般ノ事業ハ總テ之カ局ニ當ルモノ其成敗ノ責ヲ感スルコト淺薄ナ  
 ルキハ必ス其事業ニ弊破ヲ生スルヤ疑ナシ之ニ反シテ其責ヲ感スルコト深厚ナ  
 ルキハ其事業ノ完成スルヤ是亦通理ナリトス是ヲ以テ地位高ク在職ノ期永キ



上院ヲ設ケ立法ノ責ヲ分擔セシムルハ必要ナリ今茲ニ一法案ヲ議定スル下假  
 定セヨ就任ノ期短キ代議院ノ議員ハ假令該法案ニ關シテ社會ノ攻撃ヲ受クル  
 モ蘆々一二年ニ過キサカ故ニ自然粗漏ニ失スルノ傾キアリト雖モ其在職永  
 シ地位高キ上院ニ在テハ決シテ然ラス必スヤ叮嚀反覆ニ其審議ヲ盡スヤ明カ  
 ナリ(七)固ト代議士ナルモノハ輿論民情ヲ代表スルモノナリ然ルニ氓ノ蚩々ナ  
 ル時ニ或ハ僞政治家小人輩ニ煽動セラレ禍害ノ一ニ雷同スルヲ免レサルモノ  
 ナリ是時ニ當テ代議士ハ固ト人民ノ代表者タルヲ以テ之ヲ矯正スルノ力薄シ  
 輒スレハ衆民ノ囂囂ト惑ヒ易キノ憂アリ此故ニ代議院ヨリハ一層優リタル所  
 ノ高尚ナル上院ヲ設クルキハ如此時機ニ際會シテ一院ノ下ニ有害ノ説ヲ排斥  
 シ之カ雷同ヲ煥散スルノ力アリトハ云フヘカラスト雖モ其一旦代議院ニ議決  
 シ更ニ上院ニ於テ討議スルノ間多少餘計ノ時日ヲ要スルヲ以テ人民一時ニ激  
 昂シタル熱情冷却シテ遂ニ正ニ反ルノ機會ヲ得セシムル間接ノ利益アリ(八)古  
 來各國ノ歴史ニ徵スルモ一局議院制度ノ政体永續シタルモノ殆ント之ナシ而  
 ノ其永續シタル政体ハ多ク二局議院制度ヲ用ヒタルモノナリト以上ハ當時ニ

在テ有名ナル政治論ニシテ米國ノ憲法ハ全ク此精神ニ基テ制定シタル者ナリ

### 第十回

今日ハ上院ノ組織ヲ講セシ上院ノ組織モ尙ホ下院ノ組織ヲ述ヘタルキノ順序ニ從ヒ單純ナル國体ト複雜國体トノ區別ヲ基礎トシテ講セントス單純國体トハ前ニモ述ヘ置キタルカ如ク單ニ州郡等ノ小區域ヲ以テ國家ヲ組成スル所ノ日本佛國等ノ如キヲ云ヒ複雜國体トハ既ニ國家ノ資格ヲ具備シタル所ノ國体ヲ以テ更ニ聯邦ヲ形造スル獨逸合衆國瑞士等ノ如キヲ云フ先單純ナル國ニ於ケル上院ノ組織如何ヲ研究セント欲ス單純ナル國体ハ更ニ之ヲ貴族制度ノアルモノト又之ヲキモノトノ二種ニ區別スルヲ要ス何トナレハ均シク單純國ナレト英國ハ貴族制度ヲ有シ佛國ハ然ラサルカ如キ場合アレハナリ故ニ此二國ニ於ケル上院ノ組織モ又異ナラサルヲ得ス貴族制度ノ設ケアル國ニ在テハ其上院ヲ以テ貴族院若クハ華族院ト云ヒ非貴族國ニ在テハ然ラスシテ特ニ之ヲ元老院トカ又ハ第二院ト云フ又之ヲ設クル所以ノ理由ニ至テモ二者ノ間ニ差

異アリ是故ニ上院ノ組織ヲ研究スルニハ必ズ此二者ヲ區別シテ各個ニ之ヲ論セサルヘカラス

今英國ノ上院ヲ組織スル有様ヲ見ルニ一ニ貴族院ノ主義ナリ既ニ貴族ヲ以テ其上院ヲ組織スル以上ハ之カ性質モ亦自ラ下院ト異ナラサルヲ得ス如何トナレハ下院即チ代議士院ニ在テハ必ズ代議制度ノ基礎タル代表ヲ以テ其主義トセサルヘカラス然ルニ貴族院ニ在テハ全ク之ニ反シテ其上院ヲ組織スル貴族制度ノ主義トスル所ヲ以テ之カ主義トナサ、ルヘカラスナリ何チカ貴族制度ノ主義ト云フ曰ク世襲ノ事はナリ即チ其子孫ノ智愚賢不肖ニ拘ハラズ必ズ之ヲシテ祖先ノ財産名譽地位ヲ併セテ世承因襲セシムルニアリ彼ノ漢書ニ學則庶人爲公卿不學則公卿爲庶人トノ主義ニ正ニ相反スルモノニシテ其智愚賢不肖ヲ問ハズ只ニ貴族ノ子孫ト云フノミヲ以テ世々之ヲ因襲スルモノナリ是貴族ノ貴族タル所以ナリ英國ノ上院ハ一般ニ之ヲ論スルキハ貴族院ニシテ之ヲ組織スルモノモ亦貴族ナリト云フヲ得ヘシト雖モ尙ホ精細ニ考查スルキハ其貴族中許多ノ種別アリ而シテ各種ノ貴族又々各々固有ノ主義アリ今是ニ由

二

三

テ英國ノ上院ヲ組織スル所ノ貴族ヲ區別スルキハ凡ソ五種類アリ(一)數百千年來世々其榮爵ヲ因襲スル祖先ノ庇蔭ニ頼リテ上院議員タルヲ得ルモノ(二)世襲ノ庇蔭ニ頼ルニ非スシテ當時ノ皇帝ノ勅令ニ由テ上院議員タルモノ蓋シ英國ノ皇帝ハ貴族ヲ擧造スルノ特權アリ故ニ皇帝ニシテ之ヲ擧造セント欲セハ敢テ國會ニ諮詢スルヲ要セス唯タ其隨意ニアルノミ而シテ一旦特選シテ新貴族トナシタル以上ハ自然其新貴族ハ上院ニ入テ議員トナルノ特權之ニ伴隨スルモノトス是世襲貴族ト異ナル所以ナリ(三)現ニ奉スル所ノ官職ニ依テ上院議員トナルモノ官職ニ依テ上院議員タルヲ得ルモノハ獨リ宗教上ノ官職ニ限ルモノトス而シテ其宗教上ノ官職ヲ奉スルモノト雖モ悉ク然ルニ非スシテ唯タ僅カニ大僧正アチヒンヨシシヨ僧正ニ限レリ此等ノ上院議員タルヲ得ルハ單ニ其僧侶ト云フヲ以テノ故ニ非スシテ大僧正若クハ僧正ナル官職ヲ奉スルニ是レ由ルナリ故ニ一朝其官職ヲ罷免セラル、キハ忽チ上院議員タルノ特權ヲ失フモノトス然レハ大抵其上院議員タルノ位置ヲ有スルモノハ既ニ貴族ニ列スルヲ常トセリ而シテ如此僧侶等ノ上院議員トナルニ至リシ基因ニ遡リ探究スルキハ頗ル錯綜

シタル沿革アリテ容易ノコトニ非サルヲ以テ姑ク之ヲ省畧セシ(四)終身ヲ期シテ上院議員トナル爲メ撰舉セラレテ上院議員トナルモノ即チ愛蘭土ノ貴族是ナリ抑モ現時ノ大貌列顛合衆帝國ト稱スルハ其初メ英倫土ノミチヲ以テ國ヲ建テ爾來一千六百年代蘇格蘭ヲ併呑シ繼テ一千八百年代愛蘭土ヲ兼有シ以テ今日ノ形狀ヲ造リタルモノナリ沿革既ニ如此ナルカ故ニ其純理ヨリ云ヘハ固ト彼我ノ別ヲナス可ラスト雖モ實際新舊ノ間自ラ差異ナキ能ハサルナリ是ヲ以テ愛蘭土ノ貴族モ又英倫土ノ貴族ト同一ナル能ハスノ其上議院員トナルノ特權モ唯僅カニ愛蘭土全貴族中ヨリ十六人ノ代表者ヲ出スニ過キサルナリ是即チ第四種ニ屬スル貴族ナリトス(五)一國會ヲ限リ撰舉セラレテ上議院員トナルモノ即チ蘇格蘭ノ貴族是ナリ蘇格蘭ノ貴族モ愛蘭土ノ貴族ト均シク僅カニ其全貴族中ヨリ代表人ヲ撰出シテ上院議員タラシムルニ過キスト雖モ二者ノ間ニ於テ差異アリトスル所ハ一ハ終身ニシテ一ハ一國會ヲ限ルモノナレハ若シ其國會ニシテ解散セラル、カ或ハ開會期ヲ終了スルキハ更ニ新議員トナルヘキモノヲ撰出セサルヘカテサルナリ以上述フル所ニ依テ觀ルキハ英國ノ上院ヲ

四

五

組織スル成分中全ク貴族ニ非サル僧官ヲ包含シ或ハ第四第五ノ如キハ幾分カ代表主義ヲ顯ハスニ似タリト雖モ大体ヨリ之ヲ論スルキハ畢竟世襲主義タル貴族院ニシテ代議院トハ大ニ徑庭スルモノナリ如何トナレハ仮令愛蘇ノ貴族ハ其代理者ヲ撰出シテ上院議員タラシムルト雖モ是畢竟其世襲主義ヲ執ル貴族ヲ代表スルモノナレハナリ次ニ非貴族國ニ於ケル上院ノ組織ヲ述ヘンニ是モ亦更ニ其上院議員ヲ撰舉スルモノト國王ノ敕撰ニ依ルモノトノ二者ニ區別セサル可ラス又國民一般ニ其上院議員ヲ撰舉スルニモ尙ホ復撰法ヲ用ユル國ト直撰法ヲ用ユル國トノ二様アリ上院議員ヲ國民一般ニ撰舉スルニ復撰法ヲ用ユルト猶ホ彼ノ北米合衆國ニ於ケル大統領ヲ撰舉スルト同一ナルモノハ佛國ナリ即チ先ツ各州ヨリ其人口ニ應シテ撰舉委員ヲ撰定シ而シテ後チ其撰舉委員及各州ノ參事會ヲ組織スル所ノ參事會員各州撰出ノ國會議員ノ三者ヲ以テ上院議員ヲ撰任スルトセリ而シテ元老院議員タルモノハ年齡四十以上ノ佛國人タルヲ要スルノ制規ナリトス又直撰法ヲ用ユルハ白耳義ナリ即チ其下院ノ議員ヲ撰舉スルモ又上院ノ議員ヲ撰舉スルモ共ニ國民一般ナリトス而シ

テ其上院議員タルヲ得ルモノハ四十歳以上ノ白耳義人ニシテ八十四磅ノ國稅ヲ納ムルモノニ限レリ蓋シ其主旨トスル所ハ以テ優等ノ人ヲ得ルニ在ルナリ既ニ前回ニ於テ縷述シタルカ如ク上院ヲ設クル所以ノ理由ハ全ク其下院ノ過激粗暴ニ奔逸スルノ憂慮ヲ矯正スルニ在ルヲ以テ其議員タルモノハ必ス下院ヲ組織スル所ノ議員ヨリ一層優等ナラサル可ラサルナリ

### 第十一回

今夕ハ前回ニ繼キ非貴族國ニ於ケル上院組織ノ撰擧法ニ依ラサルモノヲ述ヘ  
 ノ  
 凡ソ貴族制度アル國ニ在テハ其專制政體ナルト立憲政體ナルトニ拘ハラズ必ス一國ノ首座ヲ占ムル君主アリ然レモ其君主アル國ハ未タ必シモ貴族アリト斷定スル能ハサルナリ時ニ或ハ其君主アリテ貴族制度ノ設ケナキ國稀有ニ非サルナリ事實既ニ如此カ故ニ上院組織ノ方法ニ至ツテモ非君主國ニ於ケル撰擧法ヲ除ク外英國ノ如ク貴族ノ特權ニ依ルニ非スンハ伊太利ノ如ク皇帝ノ

救撰ニ依ルノ二方法ヨリ他ニ術ナキナリ伊太利ノ上院議員ハ皇帝ノ救撰ニ係リ其議員中丁年以上ノ皇族ニシテ其皇族タル特權ニ依テ議員トナリタルモノヲ包含スト雖モ是極メテ少數ニシテ敢テ上院ノ本色ヲ成スモノニアラス唯其上院ヲ表示スルニ足ル所ノ重要ナル分子ヲナスモノハ則チ皇帝ノ救撰ニ依リタル議員ナリトス若シ夫レ員數ノ如キハ曾テ一定ノ制限ナク全ク皇帝ノ隨意ニ在リ唯其皇帝ニ於テ遵守セサルヘカラサルモノハ他ナシ上院議員タルモノハ四十歳以上ニシテ嘗テ高等官ヲ奉勤シタルモノナルカ若クハ文學技藝其他國益ニ關スル事業上ニ令聞廣譽ヲ博シ或ハ一年三千リール(リールハ伊國ニ於ケル貨幣ノ稱三千カ六百圓ニ當ル)以上ノ國稅ヲ納ムルカ或ハ三度國會議員ニ撰擧セラレタルヲ要シ且ツ其就任期限ハ終身タルヘキ法律上ノ制限ニ在リトス苟モ此範圍ヲ踰越セサルキハ上院議員ハ皇帝隨意ニ之ヲ撰任スルノ特權ヲ有スルモノナリ嘗テ講述シタルカ如ク上院議員ハ下院議員ヨリ更ニ優等ナルモノヲ要スヘキハ此ニ至テ益々明晰ヲ加ヘタリト謂フヘシ夫ノ萬事單純ヲ本トシ一切平等ヲ主トスル佛國ニ在テ上院議員ハ單ニ四十歳以上ノモノニシテ撰擧方法ニ依リ推

任スルモ猶ホ其撰舉ハ人民一般ニ非スシテ複撰法ヲ採レリ是優等ナル上院議員ヲ得ルノ精神ヲナスンハ非ス又白耳義ノ如キモ四十磅ノ國稅ヲ納ムルモノタルヲ要ストセリ以上伊佛白等ノ上院議員ヲ比較スルキハ其方法各異ナリト雖其下院議員ヨリ更ニ優等高尙ナル人ヲ得ント期スル精神ハ則チ同一ナリ若シ夫レ上院議員ト下院議員ト共ニ同等ナルモノヲ設クルカ如キハエモス氏ノ所謂無用ノ長物ニ過キサルナリ此故ニ將來上院議員ハ敢テ下院議員ヨリ優等ナルヲ要セストノ說ヲ主唱スルニ至ラハ是レ正ニ二局議院ヲ以テ無用ナリトナスノ時期ナリト覺悟セサルヘカラサルナリ然リ而シテ予カ見テ以テスレハ上院議員ヲハ撰任スルニ佛國ノ如ク撰舉法ヲ慎重スルヨリハ寧ロ伊國ノ如ク實力ヲ主眼トセハ却テ善良ナル上院議員ヲ得ルニ庶幾センカト思惟セリ茲ニ一種特別ナル上院組織方法アリ即チ英國ニ於ケル貴族世襲主義ニ非ス又佛國ノ撰舉法ニ非ス又伊太利ノ救撰法ニモ非スシテ此三方法ヲ混同シタルモノナリ普魯西國ノ上院組織法是ナリ今其憲法ノ明文ニ依テ之ヲ考察スルニ普魯西ノ上院ヲ組織スル所ノ議員ニ凡ソ七種ノ區別アリ(一)皇族(二)公家ノ家長是

貴族ノ一種ニシテ我國ニ於ケル封建時代ノ藩主ノ如キモノナリ(三)地方貴族(四)皇帝ノ特ニ大地主大製造家ヲ以テ一世貴族トナシタルモノ(五)普魯西全八州ノ各地主等各一州ニ付テ一人ヲ撰舉シ以テ其代理者トナシタル紳士(此佛國ノ如ク撰舉主義ヲ含有シタルモノナリ)(六)各大學校ノ代表者各寺院ノ管長及人口五万以上アル都市ノ市長(七)皇帝ノ救撰ニ依ルモノ(此皇帝ノ隨意ニ撰舉シ得ルモノニシテ其員數ニ定限ナシ而シテ其終身就任ヲ命セラル、モノアリ或ハ年期ヲ限リ命セラル、アリ是レ正ニ伊國ノ救撰主義ニ合同スルモノナリ)以上各國ノ上院組織法ヲ叙述シタル所以ハ敢テ深奥ナル學理ヲ發スルノ考証タラシメノコトヲ期スルニ非スト雖其亦以テ現時宇内各國ニ於ケル上院ノ實況如何ヲ知リ且ツ其上院議員タルモノハ下院議員ニ視比シテ更ニ幾層ノ優等高尙ナラサル可ラサルヲ知ルノ一端トナスニ足ランカ然リ而シテ英國ノ世襲主義佛國ノ撰舉伊國ノ救撰普魯西國ノ混合主義等ハ是レ皆其由テ來ル所古來ノ歴史ニ在テ存シ其發シテ現況ヲナスモノ各國固有ノ變遷沿革ニ胚胎スルモノナレハ輒チ其一ヲ執テ遽カニ之カ是非ヲ斷論ス可ラス故ニ若シ自今憲法ヲ創定若シハ改正

シ言ノ上院組織方法ニ及フコアラハ唯當サニ其宜キヲ撰ミ之カ衷ヲ折メンノ  
ミ  
複雜國體ノ上院組織ハ其國體ノ異ナルト與ニ亦單純國體ノ上院組織ヨリハ自  
ラ差別ナキ能ハサルナリ又均シク複雜國體ナリト雖モ獨逸ノ如キ聯邦ナルト  
米國ノ如キ合衆ナルトノ差異アルニ因テ更ニ其上院組織法ヲ異ニセサルヲ得  
サルナリ而シテ此聯邦ト合衆トノ區別ハ頗ル困難ニシテ判然數學的ノ説明ヲ  
ナス能ハスト雖モ唯一國政權ノ運施上ヨリ觀察スルモ亦絶テ之カ區別ヲ説  
明シ能ハサルニ非サルカ如シ請フ試ニ之ヲ説示セン凡ソ一國ノ狀況聯邦ナル  
キハ其中央政府ノ權力直接ニ人民ニ向テ運施作用セラレスシテ唯ニ其聯邦ノ  
各政府ニ對シテノミ運施作用スルモノトス獨逸ノ如キ是ナリ故ニ若シ獨逸ニ  
在テ一法ヲ制定シ以テ一般人民ヲシテ之ニ由リ之ニ從ハシメント欲セハ更ニ  
其各聯邦政府ヲシテ同一ノ法律ヲ制定シテ頒布セシメサルヘカラス然ラス  
ハ一般人民之ニ遵服スルノ義務生セサルモノナリ彼ノ中央政府ヨリ發布シタ  
ル法律ノ如キハ唯ニ各聯邦政府ヲ檢束スルニ過キサルノミ之ニ反シテ合衆國

ハ其始メ獨立自治ノ各州相團結シテ一國ヲ成シタル事迹ハ頗ル聯邦ニ似タリ  
 ト雖モ固ト内治ノ整肅人民ノ便益ノ爲メ相團結シタルモノニシテ假令各州政  
 府ヲ固有スト雖モ中央政府ノ權力ハ直接ニ國民一般ニ向テ運施作用ヲナスモ  
 ノトス北米合衆國ノ如キ是ナリ聯邦ト合衆トハ如是差異アルカ故ニ從テ又其  
 上院ノ組織モ異ナラサルヲ得サルナリ獨逸ノ上院譯シテ之ヲ云ヘハ聯邦參議  
 院ナルモノハ各聯邦政府ニ於テ其代理者トシテ一國會期ヲ限リ撰任シタル議  
 員ヲ組織セリ而シテ北米合衆國モ亦タ各州ノ立法會ヨリ二名ノ上院議員ヲ撰  
 出シテ其州ヲ代表セシムルハ殆ント兩者相似タルカ如シト雖モ亦大ニ異ナル  
 所アリ即チ米國ニ在テハ州ノ大小其權力ノ強弱ニ拘ハラズ一州必ス二名ヲ撰  
 出スルヲ得ルト雖モ獨逸ニ在テハ然ラス其各聯邦ノ大小強弱ニ因テ其撰出ス  
 へキ議員ノ數ヲ異ニセリ即チプロシヤハ十七人ハベリヤハ六人其他四人ヲ撰  
 出スルモノ四邦ニシテ他ハ悉ク一人ナリ是レ他ナシ前ニモ述ヘタル如ク固ト  
 聯邦ナルモノハ各小邦ノ獨立ヲ維持スル爲メ相聯絡シテ孤特ノ力ヲ合一ニシ  
 以テ外敵ニ當ラント欲スル外交上ノ策畧ヨリ相聯絡シタルモノナルヲ以テ其



邦大ニシテ權力多キモノ勢ヒ其意ヲ逞フスルハ免ル可ラサルノ定數ナリ且ツ夫レ彼カ如ク不時ノ患難ヲ救フ目的ヨリシテ強テ相聯絡スルモノナレハ平居靜寧ノ日ニ在テハ常ニ離散瓦解セントスルノ傾向ヲ生スルハ是レ亦已ムヲ得サルノ事情ナリ故ニ永久之カ聯邦ヲ維持センニハ必ス其各聯邦中最モ有力ナル邦國多少ノ專擅ヲ行ヒ各聯邦ヲ統率セサルヘカラス若シ然ラズンハ遂ニ聯邦ナルモノヲ保持スル能ハサルナリ現時獨逸聯邦ノ如キモ其聯邦中最モ廣大ナル版圖ヲ有シ尤モ權勢アル普魯西之ヲ統率シテ能ク今日ノ聯邦ヲ維持スルニ至レリ普國ニシテ一朝今日ノ權勢ヲ失墜スルキハ忽チ獨逸聯邦ノ煥散ヲ見ルヤ疑ナシ北米合衆國ノ如キモ其初メ聯邦ヲ形造スルノ畫策ナリシカニ如此弊害アルヲ以テ遂ニ今日ノ合衆國ヲナスニ至レリ以上ノ事實ニ依テ見ルキハ稍々兩者ノ區別ヲ窺知スルニ足ルヘシ

### 第十二回

前回迄ニ於テ畧ホ立法部ノ組織ニ關スル要領ヲ講述シタリト信スルヲ以テ是

ヨリ更ニ其立法部ノ重要ナル元素タル議院ノ權限如何ヲ說示セン  
議院ノ權限ハ之ヲ二項ニ分テ論セサル可ラス即チ一ハ議院ノ外部ニ對スル權利一ハ其内部ニ對スル權利是レナリ外部ニ對スル權利トハ行政部ノ失措ヲ彈効スル等ノ如キヲ云ヒ内部ニ對スル權利トハ議事細則ヲ制定シ又ハ議院ヲ整理シ或ハ議員責罰ノ方法ヲ制定スル等ノ如キヲ云フ然リ而テ現時歐米各邦何レノ國ト雖モ苟モ代議制度ノ設ケアル者ハ殆ソト二局議院ヲラサルハナシ故ニ其權限ヲ論スルニ當テモ亦議院全体ノ權限ト上下兩院各個ノ權限トノ二者ニ區別セサル可ラス抑モ議院ノ權力ハ其國政體ノ如何ニ依テ廣狹大小ノ差異ヲ生シ劃然均一ナル能ハサルナリ即チ米國ノ如キ民主政治ノ國ニ在テハ其議院ノ權力ハ一ニ憲法ノ明定スル所ニ依テ制限セテ毫モ之ヲ踰越スル能ハス常ニ法律ノ制限ヲ受クルヲ以テ苟モ法律ノ禁スル所ハ之ヲナスヲ得ス從テ其權限ノ範圍モ憲法ヲ一見スレハ炳然タリ然ルニ英國ノ如キ立憲君主政治ニ在テハ其巴力門<sup>パリアメント</sup>ノ權限至壯無限ニシテ少シモ法律ノ制限ヲ受クルカ如キ事ナキヲ以テ如何ナル法律ノ制定ト雖モ唯巴力門ノ欲スル所ナルニミ從テ其權限ノ

範圍モ亦漠然區畫ス可ラサルナリ故ニ人若シ英國巴力門ノ權限如何ヲ問フモ  
 ノアルモ一言以テ明晰ニ之カ辯解ヲナス能ハス唯古來多ク援用スル所ノ英國  
 有名ノ法律家コーク氏ノ言ヲ取テ之カ辯明ニ代フルニ過キサルナリ此他ナシ  
 英國ノ憲法ハ章條秩然タル成文法ニ非サルカ故ナリ今其言ヲ見ルニ曰ク巴力  
 門ハ宗教ヲ始トシ俗事文學ヲ主トシ其海陸軍ニ至ル迄苟モ支配統轄シ得可キ  
 者ハ其何タルニ論ナク之ニ關スル法律ヲ制定改正増減變更スル無上ノ權力ヲ  
 有ス蓋シ何レノ政治社會ニ於テモ必ス何所ニカ存スル專制力ノ歸スル所タリ  
 云々ト之ヲ約言スレハ英國ノ巴力門ハ一國社會ヲ統括攝理スル所ノ主權ヲ有  
 スト云フニ有リ然レモ又之ヲ彼ノ三權對立ノ點ヨリ云フキハ巴力門ハ單ニ其  
 立法權ヲ有スル所タルナリ夫レ各國ノ議院ニ就テ特ニ其權限ヲ精覈詳察スル  
 時ハ如是多少ノ廣狹大小アリト雖モ要スルニ其一國社會ノ大權タル立法權ヲ  
 有スルニ至テハ各國殆ント同軌タルナリ  
 下院ノ立法權ヲ有スルハ上院ト同一ニシテ其間毫末ノ差異ナキハ英國ノ憲法  
 上確定スル所タリ而テ獨リ其上下兩院ノ間著シキ差異アルハ夫ノ下院ニ於テ

國費供給法案ヲ發議スルノ特權ヲ專有シテ上院ハ秋毫モ之ニ干預スル事能ハ  
 サル事是レナリ國費供給法案トハ一國ノ財政即チ歲出入ニ關スル法案ヲ云フ  
 此國費供給法案ハ常ニ必ス先ツ下院ニ於テ之ヲ發議決定セサル可ラス而テ上  
 院ハ單ニ之ヲ可否スルニ過キスシテ其修正タモ猶ホ之ヲナス能ハサルモノト  
 ス爲ルニ現時ノ實際ハ其可否權スラ殆ント空言ニ屬シテ絶テ下院ノ議決ヲ否  
 斥シタルコトナシ故ニ現時ノ英國下院ハ實際財政ノ全權ヲ專有スト云フヘシ蓋  
 シ一國ノ財政ヲ監督スル權利ハ貴重ナル者ニシテ畢竟代議政治ニ貴フ所以ノ  
 者モ一國人民ヲ代表スル所ノ下議院此權利ヲ有スレハナリ古來立憲政體ヲ創  
 創シ議會ヲ起スニ當リ先ツ此權力ヲ賦與スルハ誠ニ偶然ニ非サルナリ且ツ夫  
 レ英國下院ノ現時非常ニ勢力ヲ有スル所以ノ者何ソヤ全ク此權力ヲ有スルヲ  
 以テナリ毎歲必ス國會ヲ召集スルノ煩擾ヲナサハル可ラサルモノ何ソヤ此權  
 力ヲ有スレハナリ夫レ政府ハ至大ノ權力ヲ有スト雖モ彼ノ僱師ニ非サルヲ以  
 テ一錢ノ經費ナクシテ自由ニ運動スル能ハサルナリ其一國社會ヲ統治スル職  
 分ヲ盡ス能ハサルナリ此レ猶ホ一己人ノ資金ナクシテ事業ヲナス能ハサルカ

如キナリ既ニ其經費ヲ要スルカ下院ノ許可ヲ得サル可ラス下院其支出方法ヲ議決シテ之ヲ許容セスンハ金錢アリト雖モ尙ホ能ク之ヲ使用スル能ハサルナリ是毎年必ス國會ヲ招集セサル可ラサル所以ナリ財政監督權ノ至貴至重ナルヲ如是ナルカ故ニ今試ミニ英國財政ノ狀況如何ヲ詳述セントス

英國政府ノ歳入ニ二類アリ一ハ永久ノ歳入ト云ヒ既ニ法律ヲ發布シ永久ニ確定シタル所ノ租税ニシテ年々一定ノ金額ヲ政府ニ收入スルモノナリ所謂確定基金之ナリ一ハ臨時ノ歳入ト云ヒ特定ノ法律ヲ以テ臨時ノ費用ヲ支辨スルカタメ一年又數年ヲ限り徴収スルモノナリ夫ノ地租ノ如キハ永久ノ租税ニシテ所得税ノ如キ者ハ臨時ノ收入ナリ而テ今日ノ實況如何ト云フニ永久ノ歳入其多分ヲ占メテ臨時ノ歳入ハ極メテ少ナシ永久ノ歳入ハ一定ノ法律ニ依テ賦課徴収スルモノナレハ年々之ヲ議定スルヲ要セスト雖モ臨時ノ收入ハ然ラス其必要生シタル時ニ臨ミ或ハ一定ノ法律ニ附加シテ之ヲ徴収スルカ或ハ特別ノ法ヲ以テ更ニ徴収センニハ下院先ツ其法案ヲ議定可決シタル後上院之レヲ認可シ以テ一ノ法律トナシ是ニ依テ徴収セサル可ラサルナリ以上ハ單ニ歳入ヲ

徴収スル所ノ根本タル法律ノ制定如何ヲ述ヘタルニ過キス故ニ毎歳必ス招集スル所ノ國會ニ於テ主トシテ議定スルハ此等ニ有ラスシテ政府一歳ノ經費豫算表ニ在リトス乃チ政府毎歳其年ノ經費豫算表ヲ調製シ之ヲ國會ニ下附スルハ猶ホ我國現時ノ地方官ニ於テ一歳ノ廳費豫算案ヲ製シテ縣會ニ下附スルガ如シ而テ其事ハ多ク大藏省之カ任ニ當ルモノトス下院己ニ其豫算表ヲ受クレハ先ツ之ヲ歳出計畫委員會ニ附シ其費途如何ヲ調査セシメ而テ其調査ヲ經タルハ更ニ歳入計畫委員ニ廻附シ各費目ニ對シ確定基金ヲ割當シ若シ不足ヲ生スルハ新タニ臨時歳入ヲ起シ之ヲ補充スルモノトス如是其配置安排既ニ一定シ國會ノ議決ヲ經タルハ適用條例トナリテ現ハレ又若シ不足ヲ補充ズルタメ臨時歳入ヲ起シタルハ附加條例ナル者現ハル、ナリ此適用條例及附加條例確定發布セラレ然ル後テ政府其租税ヲ徴収シ以テ一歳ノ經費ヲ支辯シ得ヘキナリ是毎年必ス國會ヲ招集セサル可ラサル所以ナリ然ルニ世人往々國會ヲ以テ國費供給ノ方法ヲ議定スル者ト誤解シ遂ニ古昔英國ノ毎年國會ヲ招集セサリシ專横ヲ鳴責スルモノアリト雖モ是現時ノ國會ト昔時ノ國會ト

ナ同一視スルヨリ生スル誤想ナリトス如何トナレハ昔時ノ國會ハ既ニ費消シ  
 テ負債トナリタルモノヲ辨償セシメシカタメ招集シタルモノナリト雖モ現時  
 ノ國會ハ然ラス其供給ハ既ニ一定ノ法律ニ依テ確定スルヲ以テ特ニ之カ供給  
 ナ議定スルノ必要ナシ而テ其毎年必ス國會ヲ招集スル所以ハ唯僅カニ其支出  
 ノ許容ヲ得シカタメノミ前述スルカ如ク適用條例既ニ制定セラル、モハ國會  
 ノ職分全ク終了スルモノナルヲ以テ今日ノ實際ニ於テハ國會開期ノ最終ニ臨  
 ミ之ヲ制定スルトモナレ然レモ政府ノ多事ナル國會ノ議定ニ至ルマテ曠日彌  
 久安閑トシテ支出ナキニ堪フル能ハス敢テ政府ノ隨意ヲ以テ支出セシカ國會  
 ノ議決ナキ者ハ憲法上一毫ノ微ト雖モ之ヲ支出スル能ハサルナリ是ニ於テカ  
 應變ノ便宜ニ頼リ豫メ國會ヨリ各費目ノ適用ヲ報告シ以テ政府ヲシテ假支出  
 ナサシムルトモナレ若シ然ラスハ爲メニ一國施政ノ滯滞ヲ來サ、ルヲ得  
 サルナリ然レモ如此ハ政府ト國會トノ關係極メテ親密ニ其連絡頗ル圓滑ナル  
 一英國ノ如キ者ニアラスハ望ム能ハス若シ其內閣ト下院ノ間多少ノ軋轢ア  
 ルノ國ニ在テハ時ニ或ハ其內閣濫費横出ノ咎責ヲ受ケサルヲ得サルノ不幸ナ

見ルニ至ラン何トナレハ內閣其國會ニ對シ信用ヲ失タルモ己ニ支出シタル  
 費目ニシテ國會之ヲ否決スルノ虞アレハナリ此現時英國政治ノ靜穩圓滑ナル  
 一萬國ニ冠タル所以ニシテ兼テ又國會ノ行政全体ヲ冥其中ニ監督牽制スル所  
 以ノ秘訣ナリ此故ニ米國其他ノ諸國ニ於テモ國費供給法案ノ發議權ハ概ネ下  
 院之レヲ有セサルハナシ一國政府ノ經費ハ一國人民ノ負擔スル所ナレハ其代  
 表タル下院之カ權利ヲ有スルハ固ヨリ其所ナリ然リ而テ今日英國下院ノ財政  
 法案ヲ發議スル權力ヲ有シ而モ彼カ如キ勢力ヲ保有スルニ至リタルハ徒ニ空  
 漠ナル理論ニ因ルニ非ス又歷史上ノ偶然ニ發シタルニ非ス抑モ亦以アルナリ  
 今ヲ距ル一凡ソ五六百年以前ハ英國社會ノ文明幼稚ニシテ從テ國民ノ富貴モ  
 亦甚タ微々タルカ故ニ國費ノ供給ハ多ク貴族僧侶ノ負擔スル處タリ之レヲ以  
 テ全社會ノ最小部分タル貴族僧侶ハ多數人民ト互角ノ位置ヲ占メ貴族ハ貴族  
 ノ代理ヲ出シ僧侶ハ僧侶ノ代理人民ハ人民ノ代理ヲ出スモノトシテ三者ノ區  
 別劃然トシテ定マレリ如此各分離シタルヨリシテ其勢ヒ振ハス其權微タルヲ  
 免レス然ルニ爾來漸次人民ノ富資増進シテ國費ノ多分ヲ負擔スルニ至リ遂ニ

今日ノ如ク人民其主トナリ貴族僧侶合同シテ之ト共ニ進退スルニ至レリ此單ニ社會學上ヨリ觀察シタルモノナリト雖モ今更ニ實事的ノ點ヨリ考按テ下スモ猶ホ然リトス何トナレハ國家ノ政權ナルモノハ固ト人民ノ所有ニアラスシテ償金ヲ以テ之ヲ買フタルモノナリ之ヲ換言スレハ國民ノ政權ヲ得タルハ其國費ヲ負擔スルニ因ルナリ故ニ民ノ富資微少ナルキハ政權ヲ有スルコト亦薄弱ナルハ理數ノ當然ナル所ナリ

### 第十三回

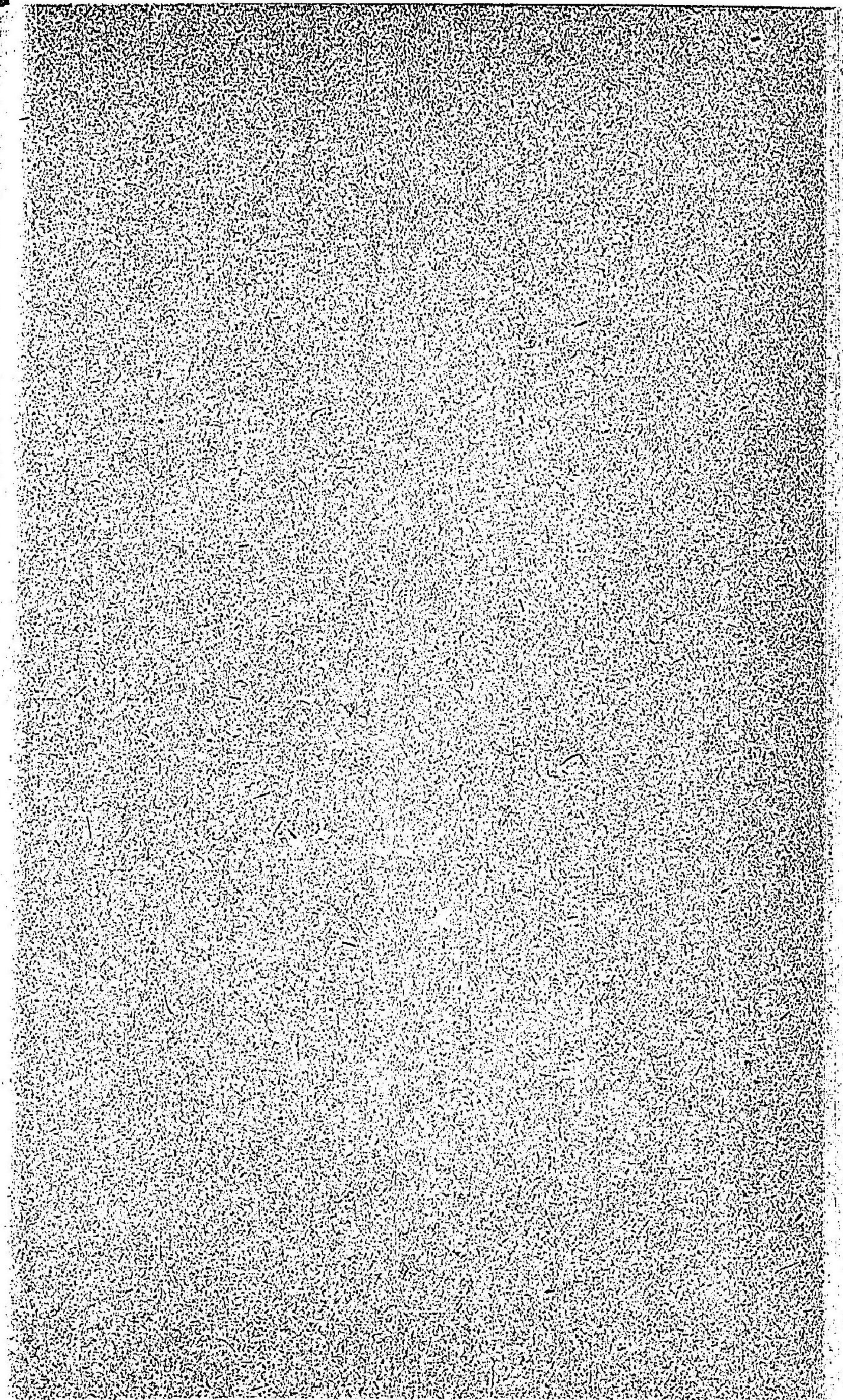
前回ニ於テ財政監督ニ關スル適用條例ノコトヲ講述シタレモ此殆ント其一部分ニ過サルヲ以テ今日ハ尙ホ之ニ繼キテ少シク補足セシ  
前既ニ述ヘタルカ如ク永久ノ歳入ハ一定ノ法律ニ依テ之ヲ國庫ニ徵集シ而テ適用條例ノ議定ニ依テ政府ハ其經費ニ支辨スルヲ得ヘシト雖モ復雜錯綜ナル社會ヲ統治シ續紘煩擾ナル世務ヲ整理スル所ノ政府ハ常ニ永久ノ歳入ノミヲ以テ終歲ノ政費ヲ支辨スルコト殆ント難シ時ニ或ハ非常ノ經費ヲ要スルノ事故

生セサルヲ期ス可ラサルナリ若シ如此コト發生センカ是ニ於テ特別税法ヲ制定シ以テ臨時ノ歳入ヲ謀ルノ必要生ス即チ當時酒類ノ貿易盛ナランカ之ニ課税シ或ハ贅澤品ナル煙草ニ課税スルノ必要生スルコトアリ此等臨時歳入ノ法律ト雖モ必ス國會ノ議定ヲ經サル可ララスンハ終ニ法律ノ効力ナク從テ人民ヨリ徵税スル能ハサルナリ以上說示シタル財政監督權ヲ區別シテ云ヘハ(一)既ニ確定スル金錢ノ使用ニ關スルモノ(二)更ニ課税スヘキ法案ノ議定ニ關スルモノ、二者ニシテ第一ハ既ニ前回ニ於テ之ヲ述ヘ第二ハ則チ今將ニ講スル所ノ者ナリ抑モ如是嚴格緊密ナル監督ノ下ニ在テ彼ノ臨機制宜ヲ尊フ行政ノ如何ニシテ自由ノ働ラキヲナスヤト云フニ亦之ニ處シ宜シキヲ失ハサルノ慣例アツテ存セリ英國ノ國會ハ概テ二月ニ始メ十一月ニ結了スルヲ常トス然ルニ行政部ノ必ス之ヲ俟タサル可ラサルモノトモ忽チ施政ノ澁滯ヲ醸シ實ニ非常ノ困難ヲ來サ、ルヲ得ス故ニ毎年政府其經費豫算案ヲ提出シ而テ國會ノ委員會畧ホ之ニ同意シ若クハ修正シ果シテ實行セラル、ノ豫定ヲ得ルキハ政府直チニ大藏省令ヲ發シ假ニ之ヲ徵收ス是レ實ニ便宜上ヨリ出テタル應變ノ方

法ニシテ決シテ法律ニアラサルナリ是ヲ以テ嚴格ニ斥言スルハ猶ホ不法ノ所爲ト云フモ可ナリ然レモ英國政治社會ノ獨リ諸國ニ優リテ圓滑ニ運用スル所以ハ全ク他ニ類例ナキ言フ可ラサル妙機アリテ之カ斡旋ヲナスカ故ナリ決シテ法律ノミノ力ニ頼ルニ非サルナリ妙機トハ何ゾヤ政治道德ノ堅固ナルノ之レナリ此政治道德ニシテ堅固ナルカ故ニ彼カ如キ不確定ノ法案ニ據テ徵稅スルヲ得ヘシ今若シ國會ニシテ政治道德ヲ破リ政府ニシテ信用ヲ失墜セシカ政府忽テ不法ノ徵稅ヲナシタル咎責ヲ受ケサル可ラサルノ結果ヲ生セン然ルニ未タ嘗テ英國政府ノ如此咎責ヲ受ケタルコトナク終始圓滑ニ運用スル所以ノ者ハ實ニ一般政治社會ノ道德堅固ニシテ彼我信任ノ厚キニ因ルノ致ス所ニシテ亦諸國ノ政治ニ冠タル所以ナリ然リ而テ上來説示スル所ハ國會ノ財政監督權ヲ專有スル現時ノ狀況ナルヲ以テ今更ニ歷史上ヨリ之カ觀察ヲ下スニ其今日ノ狀況ヲ順致シタルニハ許多ノ變遷ヲ經過シ種々ノ事情ニ胚胎シタルモノナルヘシト雖モ其國會ノ財政監督權ヲ掌握スルニ至リタル主要ノ原因ハ實ニ彼ノシヨリシ第一世ノ「マクナカーダ」ニ基クモノトス爾來種々ノ法律等ニ依テ

今日ノ如ク財政監督權ハ全ク國會ノ專有スル所トナリタリ此故ニ假令皇帝若クハ大臣ト雖モ政府ノ資格ヲ以テ濫リニ負債ヲ起シ或ハ贈與ヲ受ケ或ハ人民ノ政府ニ對スル負債ヲ免除スル能ハス加之甲省ノ要地ヲ乙省ニ讓渡スルモ猶ホ且ツ能ハサルモノトス甚シキニ至テハ人民ノ妄リニ政府ニ對シ金錢ヲ貸渡ス者ハ輕罪ニ所罰セラル、者トス夫レ如斯苟モ金錢ノ収支ニ關スル事柄ハ細大漏スナク舉テ之ヲ國會ニ專有セシムルハ或ハ太甚キニ過クルカ如シト雖モ一國ノ財政ヲ監督セシムルニハ必ス如此權力ヲ有セシメスハ終ニ其實効ヲ見ル能ハサルナリ諸君若シ此言ヲ疑ハ、請フ我國ノ現況如何ヲ熟察セヨ上院ノ財政監督ニ關スル權力ハ前ニモ説示シタルカ如ク今日ニ在テハ誠ニ微微タルモノナリト雖モ其他ノ法案ニ關シテハ上下兩院共ニ敢テ差等ナキヲ以テ特ニ説明スルヲ要セスト信スルカ故ニ此コ之ヲ省略セン終リニ臨ミテ一言大可キハ金錢法案ノ他ノ法案ニ比シテ異ナル點是レナリ他ノ法案ハ總テ國會議員之ヲ提出シ得可シト雖モ獨リ金錢法案ニ限リ然ル能ハサルモノニシテ内閣必ス之カ起草ノ任ニ當ラサル可ラス而テ國會ハ唯ニ之レヲ議定スルノミ是

他ナシ一ハ以テ公益ヲ保護シ一ハ以テ實際ノ便宜ヲ謀ルカ爲メナリ如何ノトナレハ若シ國會ヲ以テ金錢法案ヲ起草セシムルコトセハ一部人民ノ利益ヲ謀ルノ急ナルヨリシテ終ニ一般人民ノ利害ヲ顧ミス其權力ヲ妄用シ不法ノ法案ヲ起草スルノ虞アリ假令某地方ノ築港ヲ許可センカタメ新ニ租稅ヲ起シ以テ一般人民ノ負擔ヲシテ重カラシムルカ如シ又各省一歲ノ定額ノ如キモ實際其局ニ當ルモノ之カ用途ヲ熟知シ精密ノ調査其當ヲ失フノ憂ナシト雖モ局外ノ議員之レカ調査起草ヲナスルハ時ニ或ハ定額ノ加減其度ヲ誤リ實際政務ノ滯ヲ醸ス虞ナキヲ以テス可ラサルナリ然レモ若シ一地方ニ關スル財政法案ナルキハ國會議員ト雖モ猶ホ能ク之レヲ提出スルヲ得ヘシ此餘尙ホ一言スヘキモノアリ凡ソ金錢法案ハ屢々説ク如ク先ツ國會ノ委員會ニ附シ之ヲ調査セシメ然ル後正式ノ議定ヲ經ル者トス而テ事蹟細ニ属スルト雖モ此法案ヲシテ委員會ニ附スルト否トハ大ニ差異アリ一旦委員會ニ附シタル法案ハ議會ニ於テ其大體ヲ議定スト雖モ細目ノ如キハ概テ委員會ノ調査ニ從フヲ常トスレモ委員會ニ附セサルノ法案ハ議會細密ニ之ヲ討議スルモノナリ





031464-000-4

特70-482

憲法

合川 正道/述

[出版事項不明]

BBE-0063

